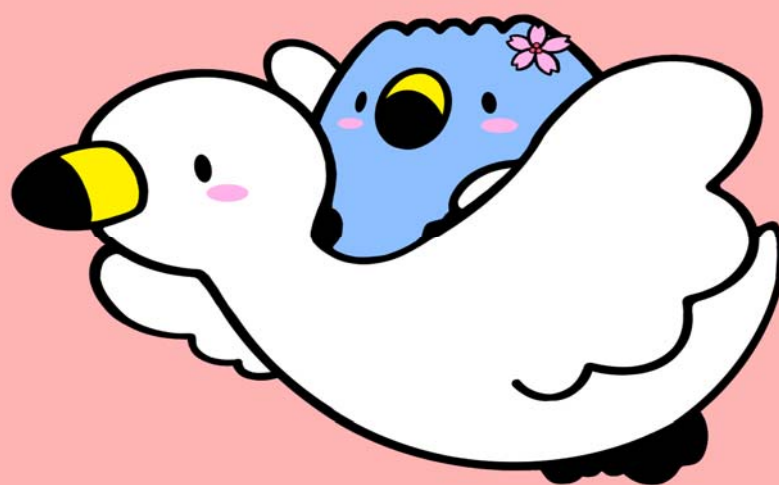


「人・まち・自然が輝く

幸福社都市 阿賀野」

平成23年度 当初予算(案)

## 【概要】



阿賀野市イメージキャラクター「ごずっちょ」



# 目 次

□ 平成23年度 阿賀野市当初予算編成について .....	1
□ 平成23年度 当初予算（案）会計別一覧表 .....	3
□ 一般会計 予算額一覧表 歳入 .....	4
□ 一般会計 予算額一覧表 歳出 .....	6
□ 一般会計 予算額一覧表 歳出 性質別 .....	8
□ 当初予算構成比（歳入・歳出） .....	10
□ 当初予算前年度対比（歳入・歳出・歳出性質別） .....	11
□ 主な歳入の概要（市税、地方交付税等、国県支出金、市債等） .....	13
□ 主な歳出の概要（義務的経費、投資的経費、扶助費） .....	18
□ 特別会計 当初予算（案）一覧表 .....	20
□ 平成23年度 主要事業一覧 .....	28
□ 平成23年度 合併特例事業一覧 .....	45

## 平成23年度当初予算編成について（概要）

阿賀野市の状況は、雇用・経済環境の悪化、少子高齢化に伴う人口の減少などが懸念されるほか、財政面においても依然として実質公債費比率が高いことから地方債許可団体から抜け出せないなどの多くの課題を抱えています。

これらの課題を解決するためにも、当市の将来像である「人・まち・自然が輝く幸福社都市」の実現のための基本的な施策を定める後期基本計画の策定を進めているところです。

平成23年度の予算総額は189億5,600万円で、前年度当初と比較して18億2,200万円（10.6%）もの大幅な増加となっておりますが、平成22年度予算の子ども手当については平成22年6月の補正予算で対応しているため、この分を控除すると実質的には13億5,093万3千円（7.7%）の増となります。

特に予算が増額となる大型のハード事業としては、水原中学校、葬斎場の改築事業があげられますが、新市建設計画の集大成として予算上においても本格的に取り組んでいくこととしています。

しかしながら、安易に市債や財政調整基金の取崩しに過度に依存した財政運営は将来的に危機的な状況を招きかねないことから、今後も市民の皆様のご理解とご協力を得ながら「財政の健全化」を堅持することが絶対的な必要条件となっております。

このため、平成23年度の当初予算編成では、歳入面では特定目的基金からの繰入金により市債の増額を最小限に抑制したほか、歳出面では事務事業のコスト削減を図る一方で、本市の進むべき方向については重点的に予算を配分して、地域の均衡ある発展と住民福祉の向上を図る予算編成に努めました。

特徴的な事業として、新規事業では、災害等緊急時における市民への情報提供を目的とする「緊急告知FMラジオ整備事業」、納税者の利便性の向上等を整備するための導入準備経費を計上する「市税のコンビニエンスストア収納委託」、保育園の民営化に向けた協議会の設置費用と施設整備を図る「ほたる保育園・あやめ保育園民営化整備事業」、家庭ごみの再資源化を促進するためごみステーションの巡回指導や分別実態調査などを行う「ごみ資源強化事業」、クリーンエネルギーやエコのまちづくりを推進する「住宅用太陽光発電設備補助事業」、及び「電気自動車環境整備事業」、阿賀野市の地場産瓦の普及促進を図る「地場産瓦

普及助成事業」、住宅環境の改善や市内産業の活性化を目的とした「住宅リフォーム補助事業」、平成5年度に消防本部に導入した既存車両を更新する「救助工作車整備事業」、乳児に絵本を贈り親子で親しむ環境を創るほか、図書館にベビーシート等を設置してきめ細かな子育て支援を行う「地域子育て創生事業」などの予算を計上しました。

継続事業としては、県補助金を活用した雇用対策として「緊急雇用創出事業」、「ふるさと雇用再生特別基金事業」において、合計31の事業を展開し101人の就業を予定しています。

また、阿賀北広域組合で行う葬斎場改築事業については平成23年度から本体工事に着手するため、これらの経費を含めた「葬斎事業負担金」が大幅に増額となったほか、大豆供給を主とした転作農作物の生産振興を推進する「産地づくり総合支援事業」、阿賀野バイパスに接続の市道予定地の用地測量・用地買収等を行う「道路新設改良事業（社会資本整備総合事業）」、平成21年度から続く市道安野川右岸線と市道若葉町安野川線を整備する「交通安全施設整備事業（社会資本整備総合事業）」、消防本部の円滑な業務を維持する「高機能指令センター（消防緊急通信指令施設）更新事業」、平成24年度からの本体工事着手予定に向けた「水原中学校整備事業（実施設計業務委託）」などについても、所要の予算を計上しました。

特別会計については、介護保険特別会計において、前年度に引き続き給付費の増加に伴い予算規模が膨らんでいるほか、公共下水道事業特別会計においても下水道の普及を推進するために事業費を増額したほか、その他の特別会計については、ほぼ前年度並みの事業費となっています。

なお、老人保健特別会計においては、精算事務の終了の見通しがついたことから特別会計を廃止することといたしました。

企業会計については、水道事業会計では、引き続き①安全で安定した水道水の供給、②企業債残高減少に向けての投資規模の適正化、③計画的な耐震化対策の実施、④事務事業の効率化による財政の健全化を経営目標として年間所要額を計上しています。

病院事業会計では、公設民営化として維持するために厚生連に対する政策的医療等交付金や既存施設の改修費等を計上したほか、新病院建設に向けて基本設計業務委託のほか、医療機器を前倒しで整備するなどの予算を計上しました。

## 平成23年度当初予算（案）会計別一覧表

単位：千円

区 分		平成23年度			平成22年度	
		当初予算額	前年度対比		当初予算額	
			金額	伸率(%)		
一 般 会 計		18,956,000	1,822,000	10.6	17,134,000	
国民健康保険特別会計		4,515,654	△ 1,847	△ 0.0	4,517,501	
後期高齢者医療特別会計		706,192	20,219	2.9	685,973	
介護保険特別会計		3,766,191	245,011	7.0	3,521,180	
公共下水道事業特別会計		2,526,128	285,259	12.7	2,240,869	
集落排水事業特別会計		281,861	△ 24,733	△ 8.1	306,594	
押切外四ヶ大字財産区特別会計		5,800	△ 200	△ 3.3	6,000	
少年自然の家特別会計		17,917	△ 2,165	△ 10.8	20,082	
工業団地造成事業特別会計		47,012	△ 692	△ 1.5	47,704	
（老人保健特別会計）		-	△ 349	皆減	349	
特別会計の計		11,866,755	520,503	4.6	11,346,252	
水道事業会計	収益的	収 入	1,207,115	△ 11,877	△ 1.0	1,218,992
		支 出	1,145,145	△ 6,733	△ 0.6	1,151,878
	資本的	収 入	361,560	△ 21,000	△ 5.5	382,560
		支 出	920,880	△ 48,769	△ 5.0	969,649
病院事業会計	収益的	収 入	338,708	△ 1,611,299	△ 82.6	1,950,007
		支 出	533,387	△ 2,424,944	△ 82.0	2,958,331
	資本的	収 入	724,536	△ 605,435	△ 45.5	1,329,971
		支 出	724,536	210,253	40.9	514,283
企業会計の計		3,385,918	△ 3,091,025	△ 47.7	6,476,943	
総合計		34,208,673	△ 748,522	△ 2.1	34,957,195	

※ 平成22年度病院事業会計に係る当初予算額は、平成22年6月定例議会において議決された通年予算の金額を記載しています。

2 一般会計  
 (1) 予算額一覧表  
 ① 歳入

科 目		平成 23 年度		平成 22 年度		増 減 B
		予 算 額	構成比	予 算 額 A	構成比	
1.	市 税	4,025,707	21.2	4,106,734	24.0	△ 81,027
2.	地方譲与税	241,000	1.3	265,000	1.5	△ 24,000
3.	利子割交付金	8,500	0.0	14,000	0.1	△ 5,500
4.	配当割交付金	4,000	0.0	5,000	0.0	△ 1,000
5.	株式等譲渡所得割交付金	1,500	0.0	1,500	0.0	0
6.	地方消費税交付金	402,000	2.1	404,000	2.4	△ 2,000
7.	自動車取得税交付金	53,000	0.3	63,000	0.4	△ 10,000
8.	ゴルフ場利用税交付金	28,000	0.1	34,000	0.2	△ 6,000
9.	国有提供施設等所在市町村助成交付金	2,923	0.0	2,921	0.0	2
10.	地方特例交付金	42,000	0.2	66,500	0.4	△ 24,500
11.	地方交付税	7,294,000	38.5	6,744,000	39.4	550,000
12.	交通安全対策特別交付金	8,105	0.0	8,405	0.0	△ 300
13.	分担金及び負担金	276,327	1.5	283,890	1.7	△ 7,563
14.	使用料及び手数料	183,877	1.0	212,030	1.2	△ 28,153
15.	国庫支出金	2,211,602	11.7	1,309,391	7.6	902,211
16.	県支出金	1,330,056	7.0	1,139,335	6.6	190,721
17.	財産収入	15,350	0.1	14,838	0.1	512
18.	寄附金	602	0.0	5,048	0.0	△ 4,446
19.	繰入金	242,992	1.3	2,251	0.0	240,741
20.	繰越金	200,000	1.1	200,000	1.2	0
21.	諸収入	538,459	2.8	512,157	3.0	26,302
22.	市 債	1,846,000	9.7	1,740,000	10.2	106,000
歳 入 合 計		18,956,000	100.0	17,134,000	100.0	1,822,000

(単位：千円、%)

比較	
B / A	主な増減理由
△ 2.0	市町村民税個人：現年分 △86,184、滞納分 2,035、法人：現年分 △8,156、滞納分 △523 固定資産税：現年分 18,594、滞納分 14,196、国有資産等所在市町村交付金 △15 市町村たばこ税：現年分 △16,752
△ 9.1	自動車重量譲与税の減税等に伴う交付見込みの減
△ 39.3	景気の低迷に伴う交付見込みの減
△ 20.0	景気の低迷に伴う交付見込みの減
0.0	
△ 0.5	景気の低迷に伴う交付見込みの減
△ 15.9	自動車取得税の減税等に伴う交付見込みの減
△ 17.6	景気の低迷に伴う交付見込みの減
0.1	平成22年度交付実績の見込みに伴う増
△ 36.8	児童手当から子ども手当への制度改正に伴う措置額の減
8.2	普通交付税 6,700,000 (22年度当初 6,150,000 前年度比較 550,000 8.9%増) 特別交付税 594,000 (22年度当初 594,000 前年度同額)
△ 3.6	交付実績の減少に伴う交付見込みの減
△ 2.7	市立保育園保育負担金 △5,113、公認保育園保育負担金 △2,081
△ 13.3	あかまつ荘テナント使用料 △2,850、給食調理施設使用料 △20,564、し尿収集運搬手数料 △2,640、 廃棄物処理手数料 △1,200
68.9	障害者自立支援負担金 54,230、子ども手当負担金 788,101、児童手当負担金 △197,509、生活保護費 負担金 34,950、地域バイオマス利活用交付金255,000、緊急消防援助隊設備整備費（救助工作車）補 助金22,417
16.7	障害者自立支援負担金 27,115、子ども手当負担金 103,575、児童手当負担金 △93,556、特別保育事 業補助金40,157、子ども医療費助成事業補助金13,087、子宮頸がんワクチン接種緊急促進臨時特例交 付金32,882、戸別所得補償制度事務費補助金10,738、緊急雇用創出事業臨時特例交付金101,828、ふる さと雇用再生特別交付金25,702、電気自動車等環境整備促進事業補助金1,100、地方産業育成資金貸付 金 △20,000
3.5	風の子保育園土地貸付料 2,664、ゴルフ場敷地料 703、基金利子 △2,689
△ 88.1	農地・水・環境保全向上対策支援に係る寄附金 △4,557
10,694.8	家畜ふん尿処理施設整備基金繰入金 15,730、消防施設整備基金繰入金 30,034、学校整備基金繰入金 74,444、水原郷病院整備基金繰入金 116,000
0.0	
5.1	保田財産区議会議員一般選挙費受託事業収入 2,000、地方産業育成資金貸付金元利収入 △40,000、中 小商工育成資金貸付金元利収入 20,000、資源ごみ売却代金収入 3,308、市町村振興協会交付金 10,633、派遣職員経費等負担金 21,000
6.1	臨時財政対策債 △162,500、葬斎施設整備事業債 255,100、県営湛水防除事業負担金 △35,800、市道 新設改良事業 32,500、交通安全施設整備事業 △43,300、救助工作車整備事業 38,300
10.6	

② 歳 出

科 目		平成 2 3 年度		平成 2 2 年度		増 減 B	
款	項	予 算 額	構 成 比	予 算 額 A	構 成 比		
1	議 会 費	1. 議 会 費	207,876	1.1	153,275	0.9	54,601
2	総 務 費		1,586,960	8.4	2,194,802	12.8	△ 607,842
		1. 総 務 管 理 費	1,152,373	6.1	1,661,867	9.7	△ 509,494
		2. 徴 税 費	243,797	1.3	291,424	1.7	△ 47,627
		3. 戸 籍 住 民 基 本 台 帳 費	139,245	0.7	145,377	0.8	△ 6,132
		4. 選 挙 費	14,932	0.1	46,836	0.3	△ 31,904
		5. 統 計 調 査 費	8,127	0.0	20,606	0.1	△ 12,479
		6. 監 査 委 員 会 費	28,486	0.2	28,692	0.2	△ 206
3	民 生 費		5,506,268	29.0	4,624,501	27.0	881,767
		1. 社 会 福 祉 費	2,700,606	14.2	2,515,328	14.7	185,278
		2. 児 童 福 祉 費	2,481,694	13.1	1,831,615	10.7	650,079
		3. 生 活 保 護 費	323,962	1.7	277,552	1.6	46,410
		4. 災 害 救 助 費	6	0.0	6	0.0	0
4	衛 生 費		2,490,271	13.1	1,393,842	8.1	1,096,429
		1. 保 健 衛 生 費	1,741,304	9.2	604,415	3.5	1,136,889
		2. 清 掃 費	748,967	4.0	789,427	4.6	△ 40,460
5	労 働 費	1. 労 働 費	30,500	0.2	30,570	0.2	△ 70
6	農 林 水 産 業 費		1,095,257	5.8	863,573	5.0	231,684
		1. 農 業 費	1,030,209	5.4	818,560	4.8	211,649
		2. 林 業 費	37,037	0.2	32,473	0.2	4,564
		3. 畜 産 業 費	28,011	0.1	12,540	0.1	15,471
7	商 工 費	1. 商 工 費	919,565	4.9	922,463	5.4	△ 2,898
8	土 木 費		1,742,066	9.2	1,704,888	10.0	37,178
		1. 土 木 管 理 費	118,381	0.6	142,160	0.8	△ 23,779
		2. 道 路 橋 り ょ う 費	808,348	4.3	838,728	4.9	△ 30,380
		3. 河 川 費	32,030	0.2	24,307	0.1	7,723
		4. 都 市 計 画 費	771,359	4.1	693,782	4.0	77,577
		5. 住 宅 費	11,948	0.1	5,911	0.0	6,037
9	消 防 費	1. 消 防 費	925,751	4.9	825,060	4.8	100,691
10	教 育 費		1,517,480	8.0	1,469,691	8.6	47,789
		1. 教 育 総 務 費	365,746	1.9	269,198	1.6	96,548
		2. 小 学 校 費	285,267	1.5	262,798	1.5	22,469
		3. 中 学 校 費	184,089	1.0	177,715	1.0	6,374
		4. 幼 稚 園 費	38,134	0.2	34,360	0.2	3,774
		5. 学 校 給 食 費	231,802	1.2	254,577	1.5	△ 22,775
		6. 社 会 教 育 費	247,021	1.3	280,791	1.6	△ 33,770
		7. 保 健 体 育 費	165,421	0.9	190,252	1.1	△ 24,831
11	災 害 復 旧 費	1. 公 共 施 設 災 害 復 旧 費	2	0.0	1	0.0	1
12	公 債 費	1. 公 債 費	2,903,871	15.3	2,921,102	17.0	△ 17,231
13	諸 支 出 金		133	0.0	232	0.0	△ 99
		1. 基 金 支 出 金	133	0.0	232	0.0	△ 99
14	予 備 費	1. 予 備 費	30,000	0.2	30,000	0.2	0
歳 出 合 計			18,956,000	100.0	17,134,000	100.0	1,822,000



(単位：千円、%)

比較	
B / A	主な増減理由
35.6	議員報酬 5,286、議員期末手当 △1,046、議員共済会負担金 52,193
△ 27.7	
△ 30.7	職員人件費 22,981、財政調整基金積立金 △596,318、緊急雇用創出事業（公有地の調査・測量委託料） 8,757、フィンランド・プロジェクト推進費 1,636、ふるさと雇用再生特別交付金事業（プール活用超高齢社会貢献事業他） 9,082、緊急雇用創出事業（街路灯管理システムデータ整備委託料） 7,277、コンビニ収納導入システム回収業務委託料 7,350、セキュリティシステム導入事業費 3,907、安田保健センター屋根・外壁修繕工事 10,322
△ 16.3	職員人件費 △16,965、評価鑑定業務委託料 △17,660
△ 4.2	職員人件費 △4,321、公的個人認証機器購入費 △1,155
△ 68.1	県議会議員一般選挙費 3,283、保田財産区議会議員一般選挙費 2,000、参議院議員通常選挙費 △25,500、農業委員一般選挙費 △11,900
△ 60.6	経済センサス活動調査費 2,272、国勢調査費 △14,667
△ 0.7	
19.1	
7.4	職員人件費 9,036、国保特別会計繰出金 11,909、障害者自立支援事業扶助費 108,947、介護保険施設デイサービスセンター外壁改修工事 11,275、介護保険特別会計繰出金 31,540、後期高齢者医療特別会計繰出金 18,863、旧白鳥荘解体事業費補助金 △24,407
35.5	職員人件費 △44,365、高等技能訓練促進費補助金（安心こども基金事業） 3,384、緊急雇用創出事業（ママさん職場復帰サポート） 11,189、子ども手当給付事業費 1,089,119、児童手当給付事業費 △473,955、市単障害児保育推進事業補助金 5,652、ほたる保育園他民営化整備事業費 10,179
16.7	生活保護扶助費 46,600
0.0	
78.7	
188.1	職員人件費 22,207、病院事業会計繰出金 639,625、水道事業会計繰出金 21,970、子宮頸がん予防ワクチン等予防接種事業費 103,280、子ども医療費助成事業扶助費 17,009、阿賀北広域組合葬斎施設負担金 320,226
△ 5.1	不燃物粗大ごみ収集運搬処分業務委託料 5,670、阿賀北広域組合し尿処理施設負担金 15,133、五泉地域衛生施設組合負担金 △11,338、環境センター施設運営業務委託料 18,428、環境基本計画策定業務委託料 9,785、阿賀北広域組合葬斎施設負担金 △69,844
△ 0.2	新発田地域雇用協議会負担金 △70
26.8	
25.9	職員人件費 △3,816、農業振興地域整備計画策定委託料 6,090、地域パイオマス利活用補助金 255,000、大豆乾燥調製施設改修工事費 5,723、農機具格納庫改修工事費 3,759
14.1	林道改良事業費 5,705、県営広域基幹林道整備負担金 △7,000
123.4	畜産関連機械施設等整備事業 4,469、グリーンアクアセンター攪拌機械部品交換工事 11,261
△ 0.3	商店街アーケード改修事業補助金 △4,175、地方産業育成資金貸付金 △40,000、中小商工業振興資金貸付金 20,000、地方産業育成資金元金償還金 △20,000、産業経済振興基本計画策定業務委託料 3,570、太陽光発電設備設置補助金 3,000、地場産瓦利用補助金 5,000、瓦ロード景観整備事業補助金 △2,650、電気自動車環境整備事業費 5,911、東部産業団地太陽光発電所オープンイベント経費 1,430
2.2	
△ 16.7	職員人件費 △23,412
△ 3.6	道路維持補修事業費 △18,833、道路改良事業費 62,768、交通安全施設整備事業費 △109,607、道路除雪費 32,351
31.8	排水路改修工事費 7,500
11.2	職員人件費 △15,267、都市計画道路見直し業務委託料 1,271、住宅リフォーム補助金 60,000、公共下水道事業特別会計繰出金 32,907
102.1	県営住宅水道メーター等取付工事費 6,084
12.2	職員人件費 △15,209、エアーテナント購入費 2,646、救助工作車整備事業費 85,326、消防ポンプ自動車整備事業費 △29,157、緊急通信指令施設整備事業費 20,000、移動系防災行政無線システム購入費 15,000、防災ラジオ事業費 16,063
3.3	
35.9	職員人件費 23,155、通学バス運行事業費 25,437、堀越児童屋内体育館耐震補強工事・改修工事 35,999
8.5	職員人件費 △4,046、介助員配置事業費 2,946、管理費 △12,328、コンピュータ教育環境整備事業費 1,773、安野小学校耐震化第2次診断・補強設計・大規模改造設計委託料 40,565、教師用指導書 14,691
3.6	職員人件費 △3,970、コンピュータ教育環境整備事業費 2,605、水原中学校実施設計委託料 58,000、同校基本設計・地質調査委託料 △37,262、安田中学校耐震化大規模改修事業施工監理委託料 △13,901
11.0	安田幼稚園管理費 3,169、京ヶ瀬幼稚園管理費 625
△ 8.9	職員人件費 △2,113、中学校給食調理業務委託料 △20,117
△ 12.0	職員人件費 △5,826、少年自然の家特別会計繰出金 △1,560、埋蔵文化財保護費 △31,738、地域子育て創生事業費 1,139、国民読書年事業費 △2,500、吉田東伍記念博物館費 2,728
△ 13.1	職員人件費 △24,697
100.0	
△ 0.6	償還元金 810、償還利子 △18,041
△ 42.7	
△ 42.7	畜産振興資金融資基金利子繰出金 △14、土地開発基金利子繰出金 △85
0.0	
10.6	

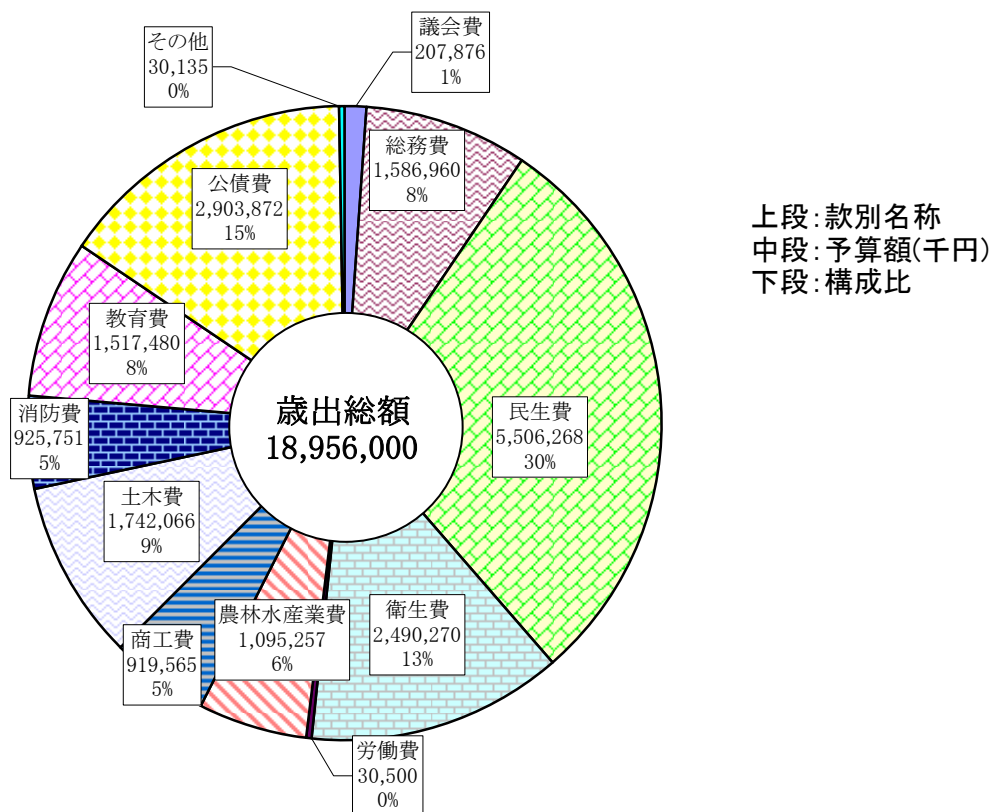
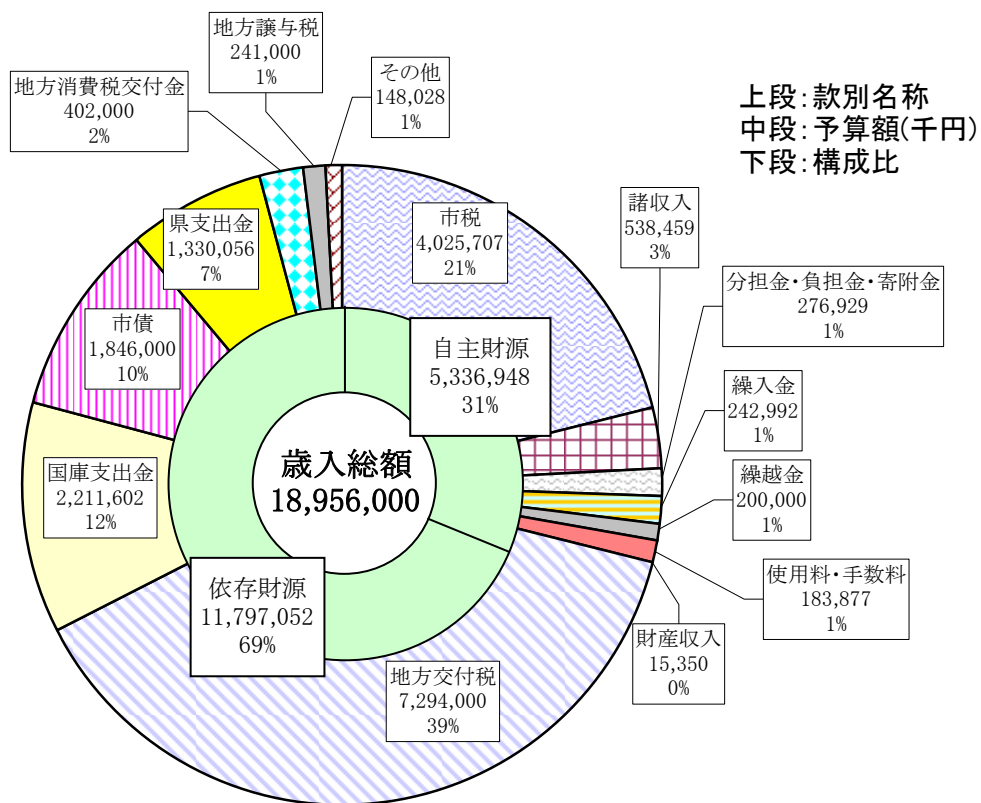
③歳出 性質別

区分		平成 2 3 年 度		平成 2 2 年 度		増 減 B
		予 算 額	構 成 比	予 算 額 A	構 成 比	
1	人 件 費	4,028,806	21.3	4,079,347	23.8	△ 50,541
	(上記のうち職員給)	2,697,280	14.2	2,799,550	16.3	△ 102,270
2	物 件 費	2,518,505	13.3	2,231,060	13.0	287,445
3	維 持 補 修 費	164,208	0.9	167,730	1.0	△ 3,522
4	扶 助 費	3,078,210	16.2	2,298,261	13.4	779,949
5	補 助 費 等	1,624,729	8.6	1,075,121	6.3	549,608
6	普 通 建 設 事 業 費	1,273,000	6.7	1,106,768	6.5	166,232
	(1) 補助事業費	693,071	3.7	669,029	3.9	24,042
	(2) 単独事業費	359,951	1.9	144,723	0.8	215,228
	(3) 国直轄事業負担金	0	0.0	0	0.0	0
	(4) 県営事業負担金	219,978	1.2	293,016	1.7	△ 73,038
7	災 害 復 旧 事 業 費	2	0.0	1	0.0	1
8	公 債 費	3,037,753	16.0	3,075,063	17.9	△ 37,310
9	投 資 及 び 出 資 金	400	0.0	401	0.0	△ 1
10	貸 付 金	390,000	2.1	410,000	2.4	△ 20,000
11	繰 出 金	2,802,574	14.8	2,054,427	12.0	748,147
12	積 立 金	7,813	0.0	605,821	3.5	△ 598,008
13	予 備 費	30,000	0.2	30,000	0.2	0
歳出合計		18,956,000	100	17,134,000	100	1,822,000

(単位：千円、%)

比較	
B / A	主な増減理由
△ 1.2	職員給 △102,270、地方公務員共済組合等負担金 54,069
△ 3.7	給料 △61,664、手当 △40,606
12.9	緊急雇用創出事業費（賃金・委託料） 92,648、ふるさと雇用再生特別交付金事業費（委託料） 32,574、外国人住民基本台帳システム改修委託料 14,175、コンビニ収納システム改修委託料 7,350、子宮頸がんワクチン等予防接種委託料 102,720、環境センター施設運営委託料 18,428、スクールバス運行委託料 27,077
△ 2.1	小中学校施設等維持補修費 △2,624
33.9	障害者自立支援事業費（介護給付費等） 108,947、重度心身障害者医療費助成費 1,488、子ども手当 1,089,119、児童手当 △473,945、生活保護扶助費 46,600、子ども医療費助成費 17,009
51.1	新発田地域老人福祉保健事務組合負担金 5,474、市単障害児保育推進事業補助金 5,652、阿賀北広域組合葬斎施設負担金 244,293、地域バイオマス利活用補助金 255,000、いきいき畜産推進事業補助金 4,469、太陽光発電設備設置補助金 3,000、地場産瓦利用補助金 5,000
15.0	
3.6	社会資本整備総合事業（道路維持） △8,705、同事業（道路改良） 28,868、道整備交付金事業 19,000、交通安全施設整備事業 △483,607、社会資本整備総合事業 374,000、救助工作車整備事業 85,000、消防ポンプ自動車整備事業 △28,900、堀越児童屋内体育館耐震補強工事 17,199、小学校施設耐震化大規模改修事業（安野小学校） 17,904、水原中学校整備事業（実施設計） 20,900
148.7	安田保健センター改修工事 10,322、保育園民営化改修工事 10,000、大豆乾燥調製施設改修工事 5,723、農機具格納庫改修工事 3,759、県単林道工事 6,000、グリーンアクアセンター機械部品交換工事 11,261、電気自動車充電スタンド整備工事 4,983、道路維持補修事業 10,500、排水路改修工事 7,500、住宅リフォーム補助事業 60,000、消防緊急通信指令施設整備事業 20,000、消防救急無線デジタル化事業 6,600、移動系防災行政無線システム 15,000、堀越児童屋内体育館改修工事 18,800
0.0	
△ 24.9	島田地区湛水防除事業費 △11,550、安野川地区湛水防除事業費 △26,066、阿賀野川右岸2期地区基幹水利施設補修事業費 △2,657、広域営農団地農道整備事業費 2,600、国営付帯県営かんがい排水事業（塚田川） △2,241、広域基幹林道整備事業 △7,000、県営道路事業 △27,000
100.0	
△ 1.2	借入金償還元金 810、借入金償還利子 △18,040、繰上償還分元金 地方産業育成資金元金償還金 △20,000
△ 0.2	
△ 4.9	地方産業育成資金貸付金 △40,000、中小商工業振興資金貸付金 20,000
36.4	国民健康保険特別会計繰出金 11,909、老人保健特別会計繰出金 △347、介護保険特別会計繰出金 31,540、後期高齢者医療特別会計繰出金 18,863、病院事業会計繰出金 639,625、水道事業会計繰出金 21,970、集落排水事業特別会計繰出金 △4,618、公共下水道事業特別会計繰出金 32,907、少年自然の家特別会計繰出金 △1,560
△ 98.7	財政調整基金積立金 △596,318、減債基金積立金 △645、合併市町村振興基金積立金 △652、地域福祉基金積立金 △327
0.0	
10.6	

# 平成23年度歳入歳出款別当初予算構成比

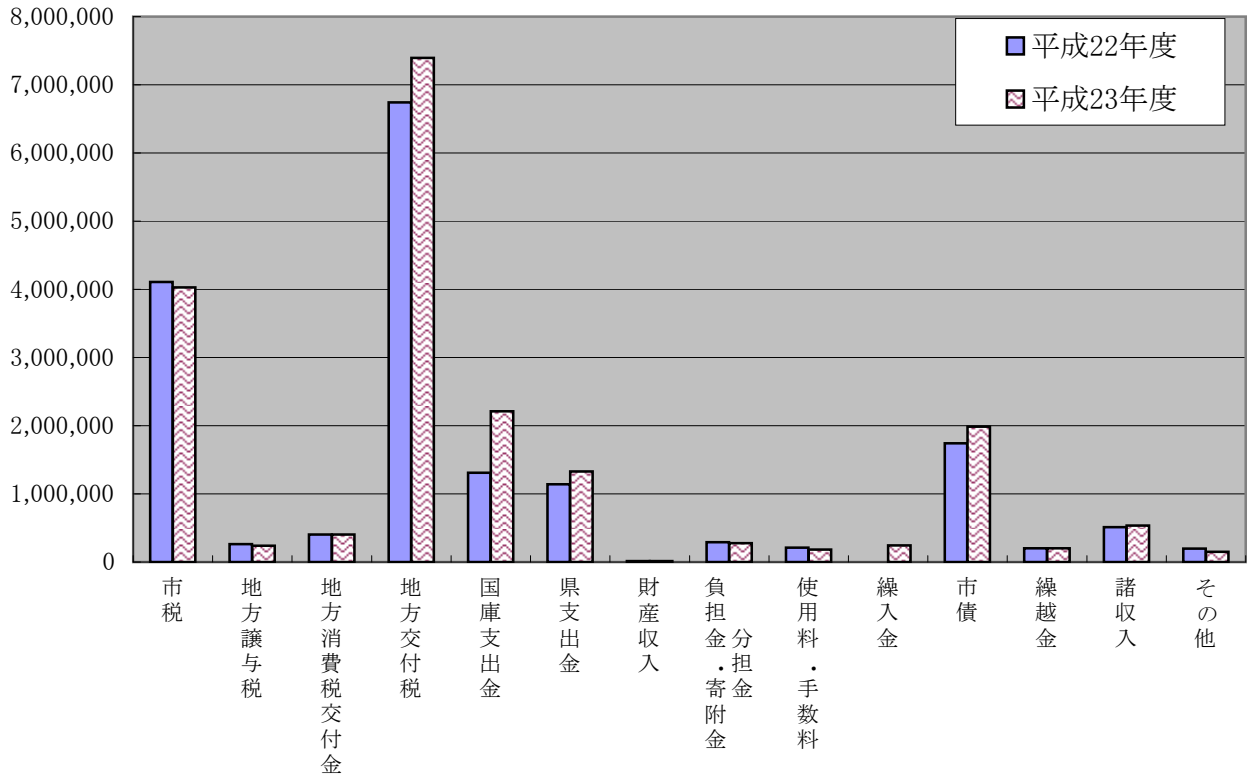


※構成比は各項目ごとに小数点以下を四捨五入しているため、合計で100%にならないことがあります。

# 平成23年度当初予算 前年度対比

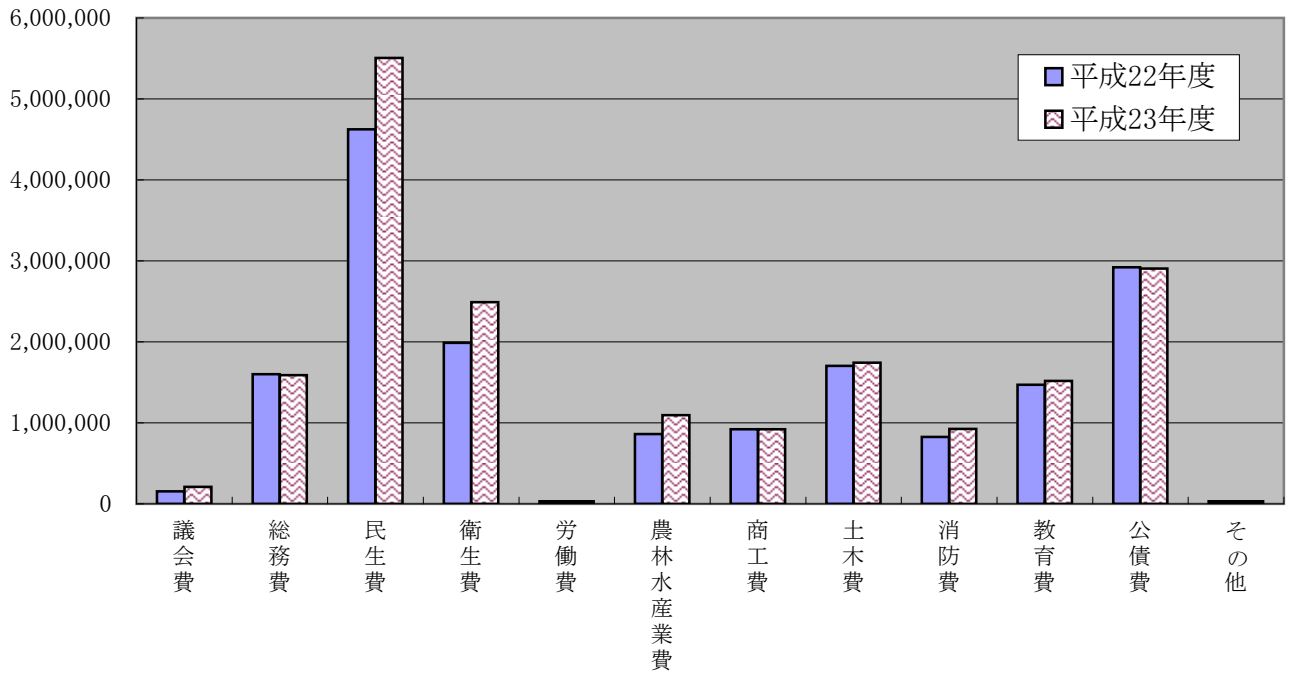
## 【歳入款別】

単位:千円



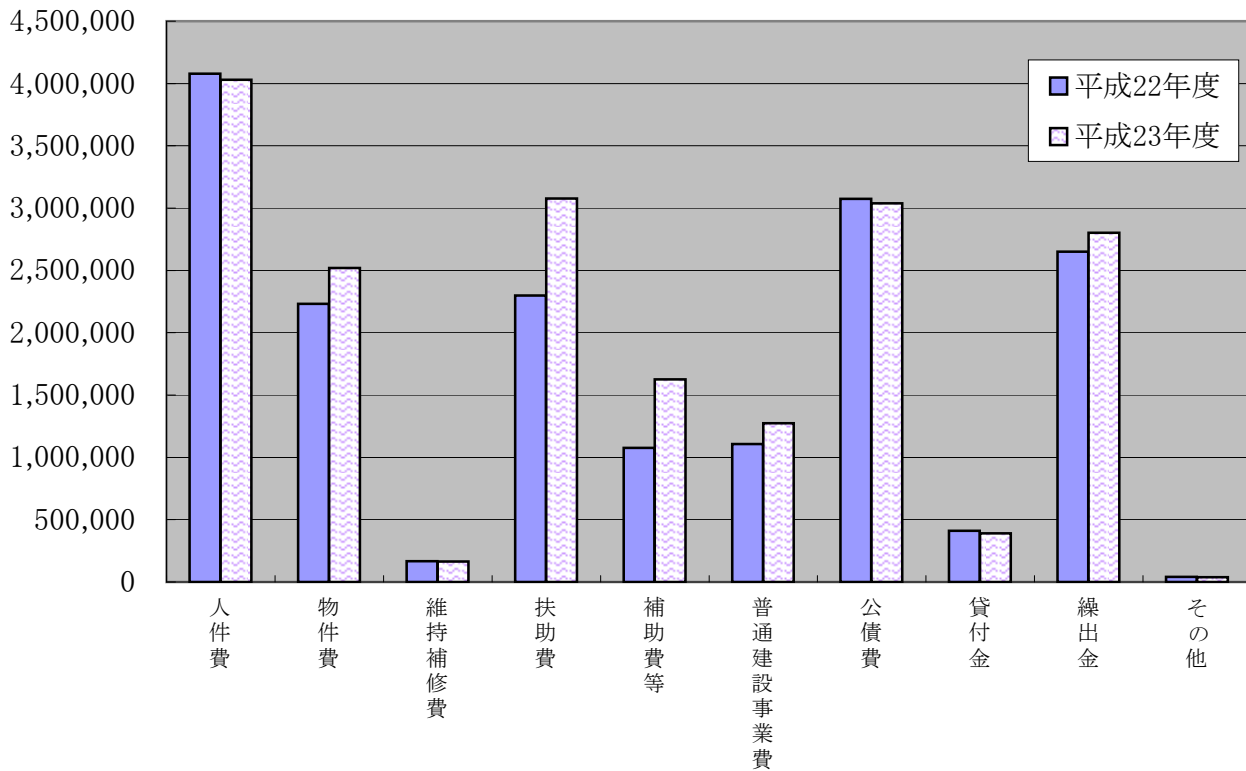
## 【歳出款別】

単位:千円

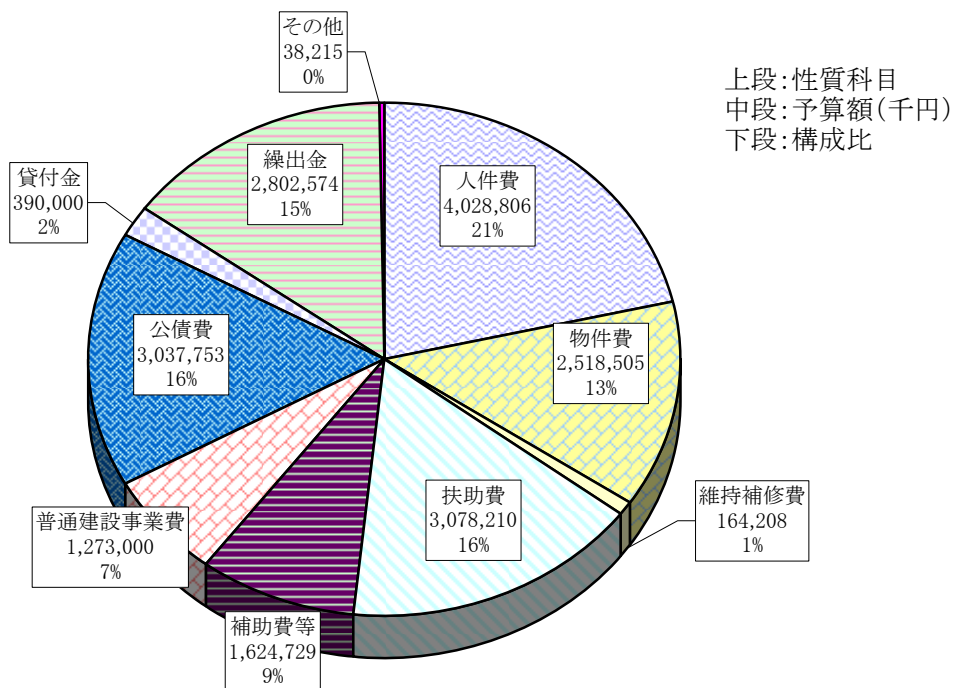


## 【歳出性質別】

単位：千円



## 平成23年度当初予算 性質別構成比(参考)



※構成比は各項目ごとに小数点以下を四捨五入しているため、合計で100%にならないことがあります。

# 主な歳入の概要（資料編）

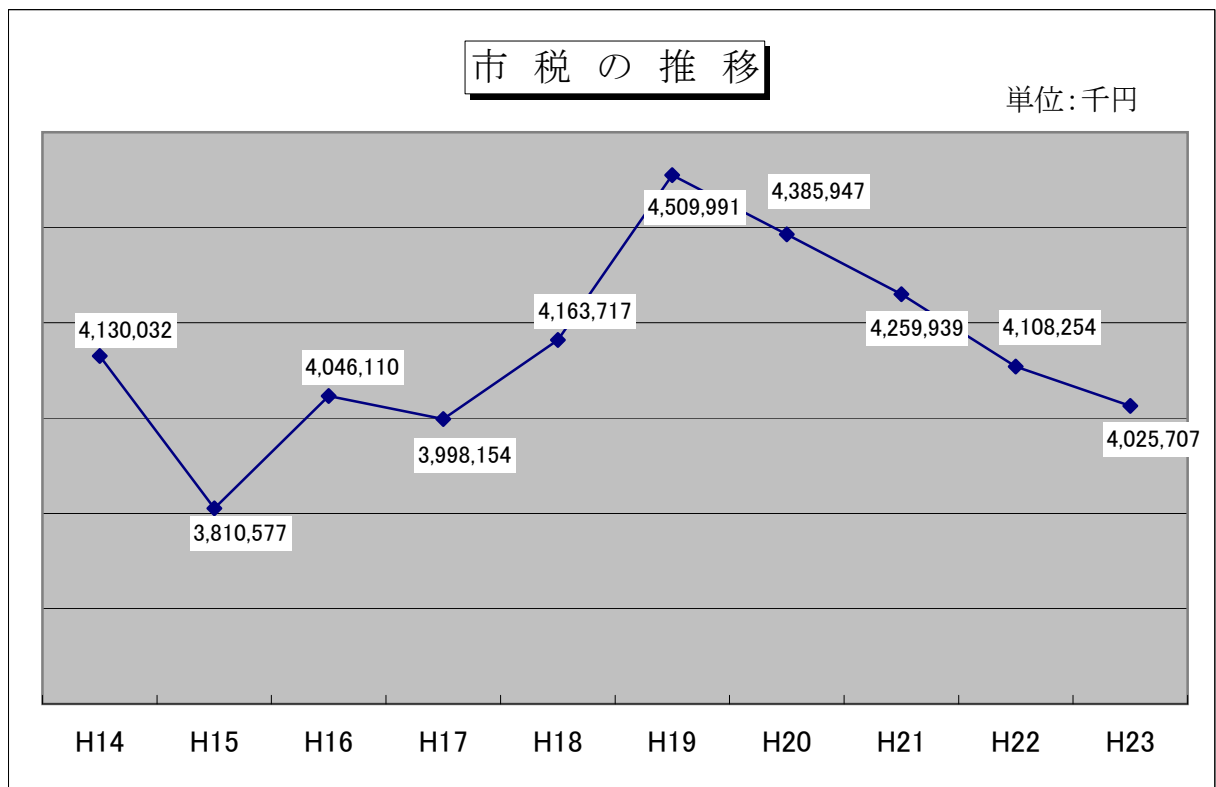
## 【市税】

(単位:千円、%)

区 分	本年度当初予算額 (A)	前年度当初予算額 (B)	増減額 (A)-(B) (C)	増減率 (C)/(B)
市民税	1,574,016	1,666,844	△ 92,828	△ 5.6
個人	1,344,524	1,428,673	△ 84,149	△ 5.9
法人	229,492	238,171	△ 8,679	△ 3.6
固定資産税	2,099,373	2,066,598	32,775	1.6
固定資産税	2,093,192	2,060,402	32,790	1.6
国有資産交・納付金	6,181	6,196	△ 15	△ 0.2
軽自動車税	113,285	111,534	1,751	1.6
市町村たばこ税	218,653	235,405	△ 16,752	△ 7.1
鉱産税	3,961	8,786	△ 4,825	△ 54.9
入湯税	16,419	17,567	△ 1,148	△ 6.5
計	4,025,707	4,106,734	△ 81,027	△ 2.0

※ 入湯税は、観光協会補助金や五頭温泉旅館協同組合補助金、消防施設費などの財源の一部として有効に利用されています。

※ 平成19年度は税制改正、税源移譲により増



※H21までは決算額、H22は最終予算見込み額、H23は当初予算額

## 【地方交付税・臨時財政対策債】

(単位:千円、%)

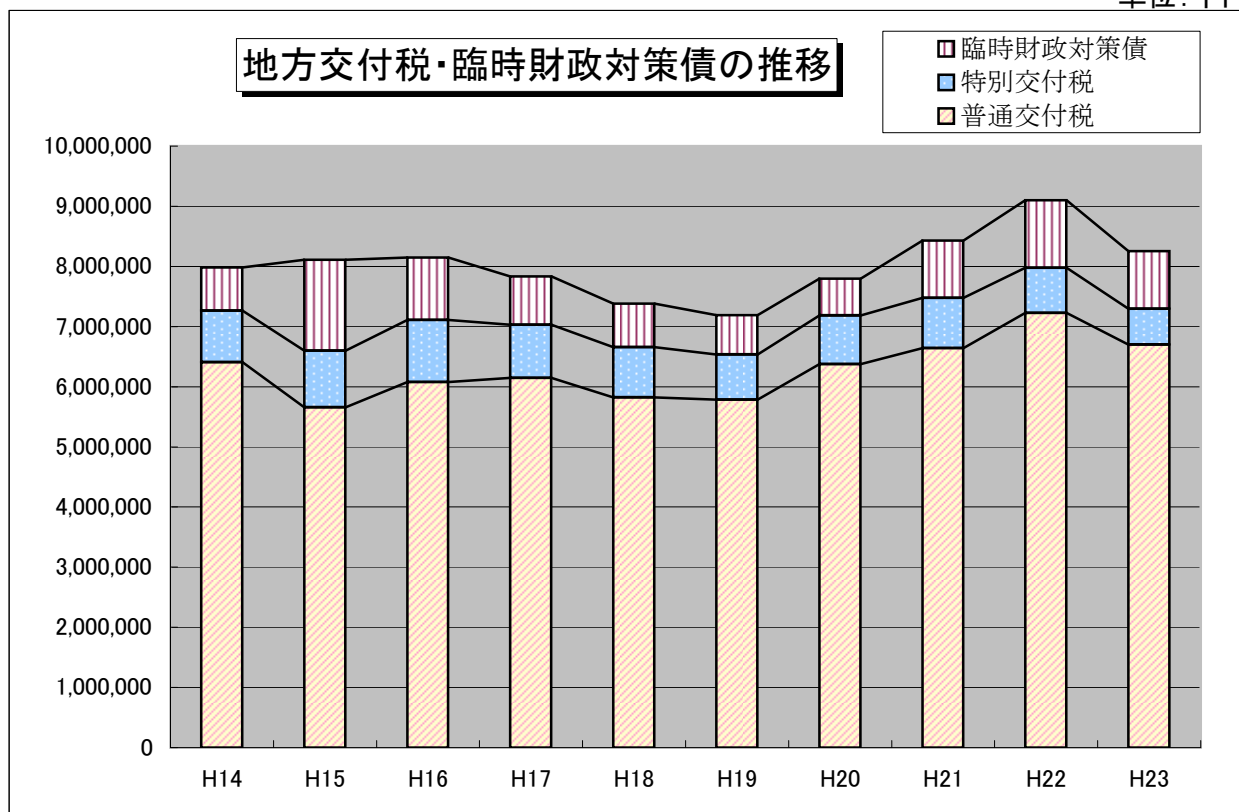
区 分	本年度当初予算額	前年度当初予算額	増減額	増減率
	(A)	(B)	(A)-(B) (C)	(C) / (B)
交 付 税	7,294,000	6,744,000	550,000	8.2
普通交付税	6,700,000	6,150,000	550,000	8.9
特別交付税	594,000	594,000	0	0.0
臨時財政対策債	960,000	1,122,500	△ 162,500	△ 14.5
合 計	8,254,000	7,866,500	387,500	4.9

## □地方交付税・臨時財政対策債の推移

(単位:千円)

年 度	普通交付税	特別交付税	臨時財政対策債	計(決算等)	備 考
H14	6,409,841	852,428	722,900	7,985,169	
H15	5,655,177	941,595	1,515,400	8,112,172	
H16	6,077,303	1,031,496	1,040,500	8,149,299	
H17	6,147,747	881,311	805,800	7,834,858	
H18	5,823,370	833,202	722,900	7,379,472	
H19	5,787,087	747,134	655,900	7,190,121	
H20	6,373,461	809,838	614,300	7,797,599	
H21	6,641,637	834,757	953,525	8,429,919	
H22	7,227,065	750,000	1,122,565	9,099,630	決算見込額
H23	6,700,000	594,000	960,000	8,254,000	当初予算額

単位:千円



※H21までは決算額、H22は決算見込み額、H23は当初予算額



## 【 国 県 支 出 金 】

(単位:千円、%)

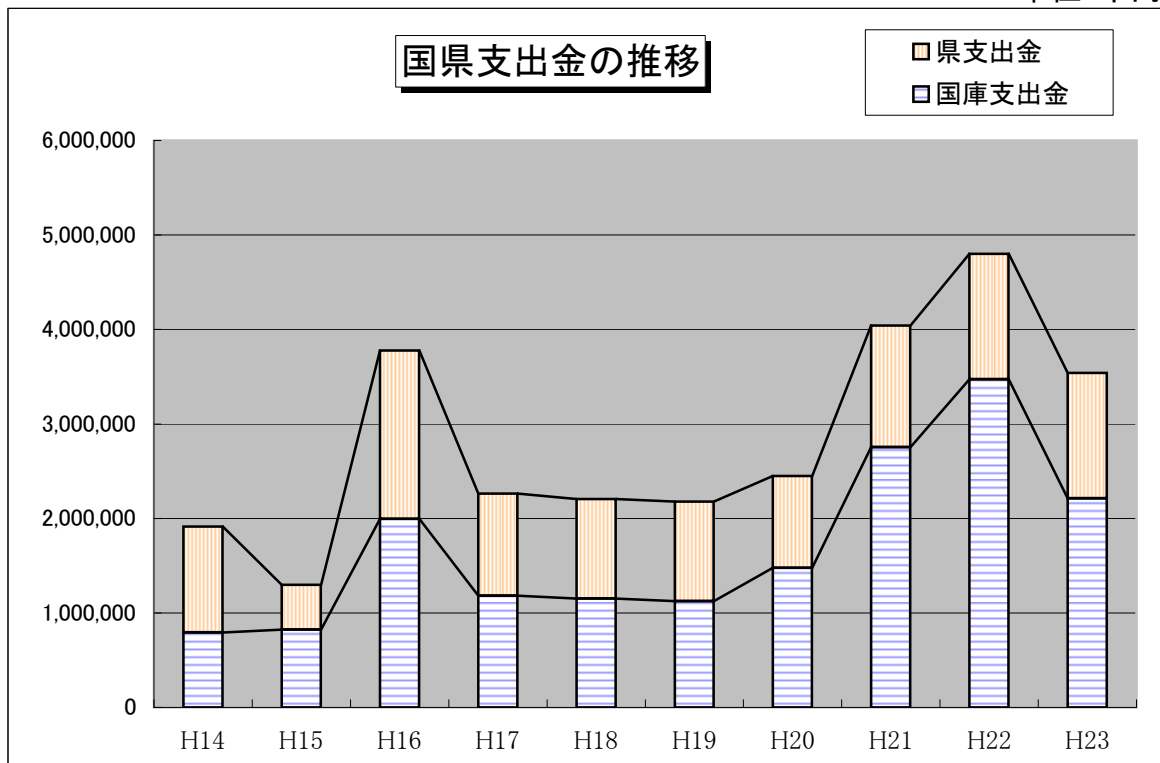
区分	本年度当初予算額 (A)	前年度当初予算額 (B)	増減額 (A)-(B) (C)	増減率 (C)/(B)
国庫支出金	2,211,602	1,309,391	902,211	68.9
国庫負担金	1,560,871	876,795	684,076	78.0
国庫補助金	643,573	425,319	218,254	51.3
委託金	7,158	7,277	△ 119	△ 1.6
県支出金	1,330,056	1,139,335	190,721	16.7
県負担金	543,261	526,847	16,414	3.1
県補助金	541,959	308,963	232,996	75.4
委託金	114,836	153,525	△ 38,689	△ 25.2
県貸付金	130,000	150,000	△ 20,000	△ 13.3
計	3,541,658	2,448,726	1,092,932	44.6

### □ 国県支出金の推移

(単位:千円)

年度	国庫支出金	県支出金	計(決算等)	備 考
H14	793,229	1,121,017	1,914,246	
H15	824,659	474,153	1,298,812	3月打ち切り決算により減
H16	1,995,745	1,781,834	3,777,579	前年度打ち切り決算により増
H17	1,183,102	1,081,393	2,264,495	
H18	1,151,861	1,055,242	2,207,103	
H19	1,126,332	1,053,339	2,179,671	
H20	1,477,072	971,369	2,448,441	
H21	2,754,307	1,285,868	4,040,175	
H22	3,474,097	1,325,962	4,800,059	最終予算見込み額
H23	2,211,602	1,330,056	3,541,658	当初予算額

単位:千円



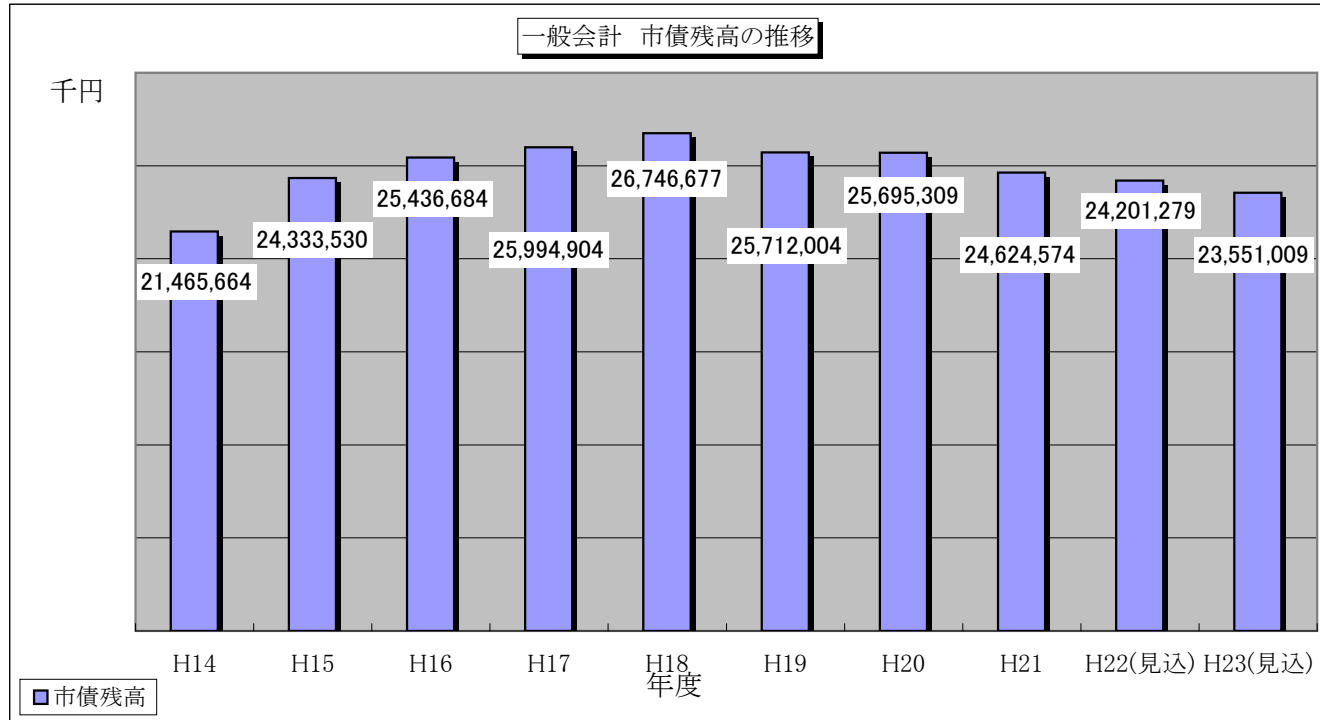
※H21までは決算額、H22は繰越明許分を含む最終予算見込み額、H23は当初予算額

□阿賀野市の市債残高の推移(一般会計)

単位:千円

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22(見込)	H23(見込)
市債残高	21,465,664	24,333,530	25,436,684	25,994,904	26,746,677	25,712,004	25,695,309	24,624,574	24,201,279	23,551,009

※市債残高には、合併前の旧阿賀北広域組合(ごみ処理施設・消防本部)分が含まれています。

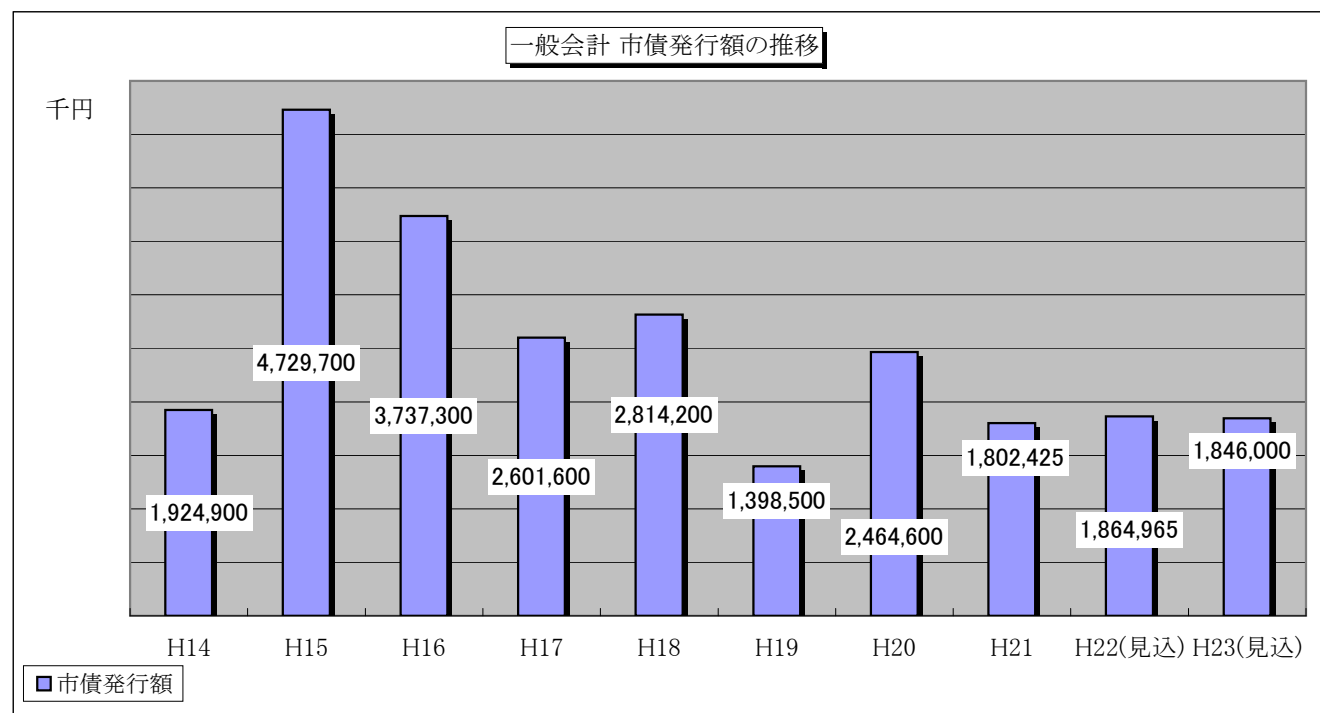


□阿賀野市の市債発行額の推移(一般会計)

単位:千円

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22(見込)	H23(見込)
市債発行額	1,924,900	4,729,700	3,737,300	2,601,600	2,814,200	1,398,500	2,464,600	1,802,425	1,864,965	1,846,000

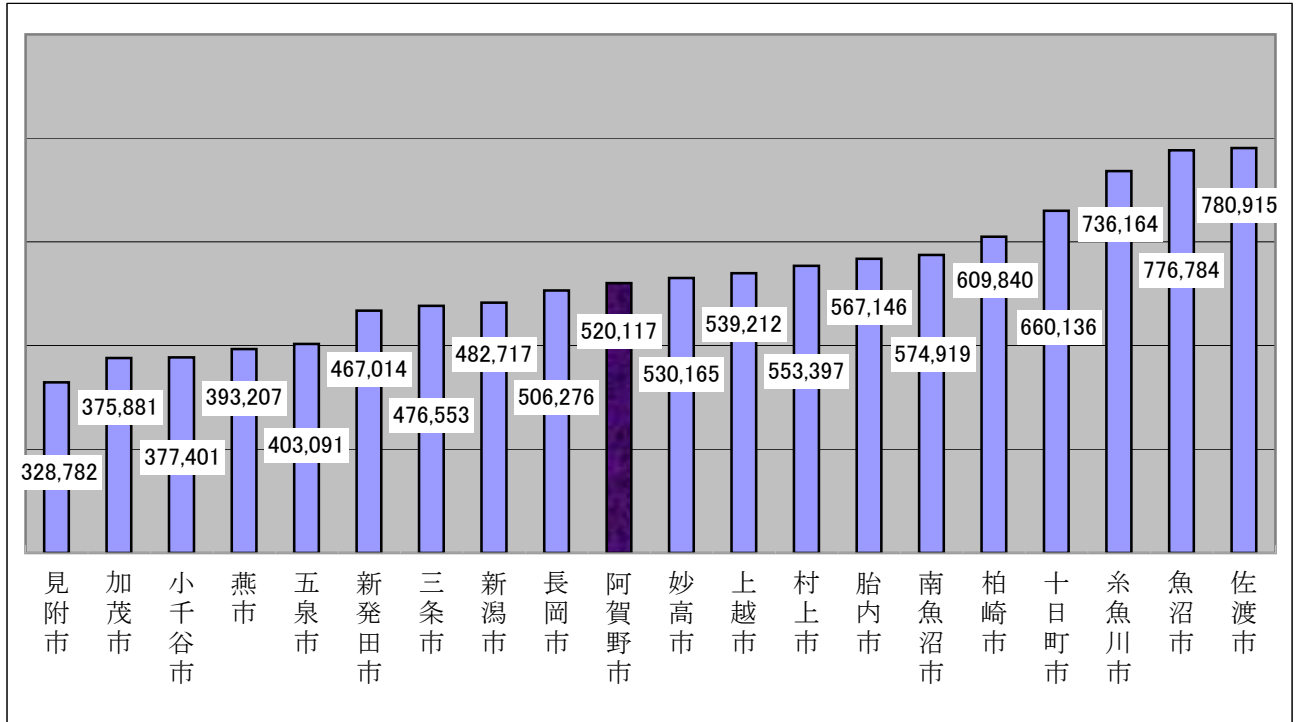
※市債発行額には、合併前の旧阿賀北広域組合(ごみ処理施設・消防本部)分が含まれています。



※H21までは決算額、H22は繰越明許分を含む最終予算見込み額、H23は当初予算額

## 人口1人当たり地方債現在高

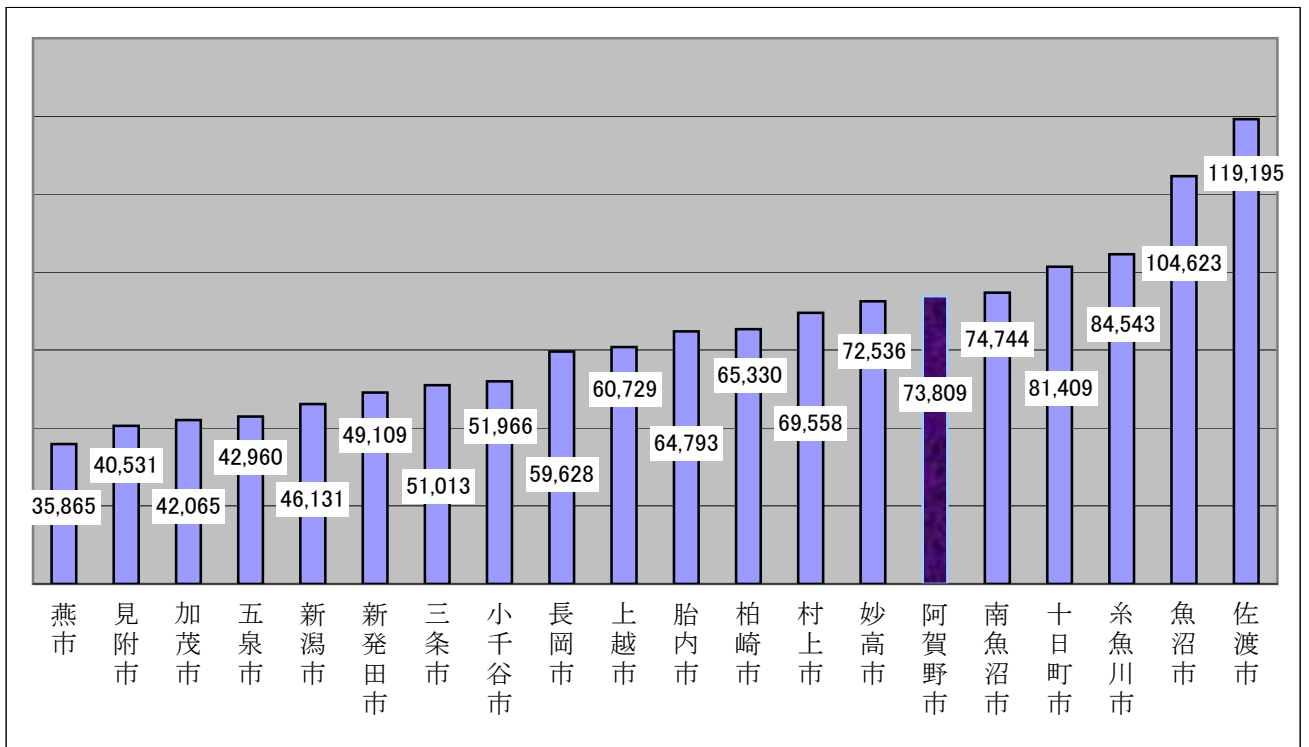
単位：円



※21年度普通会計決算数値  
各市人口は、平成22年3月31日現在  
(阿賀野市人口46,608人)

## 人口1人当たり公債費

単位：円



※21年度普通会計決算数値

# 主な歳出の概要

## 【 義務的経費 】

(単位:千円、%)

区 分	本年度当初予算額 (A)	前年度当初予算額 (B)	増減額 (A)-(B) (C)	増減率 (C)/(B)
人件費	4,028,806	4,079,347	△ 50,541	△ 1.2
扶助費	3,078,210	2,298,261	779,949	33.9
公債費	3,037,753	3,075,063	△ 37,310	△ 1.2
計	10,144,769	9,452,671	692,098	7.3

## 【 投資的経費 】

(単位:千円、%)

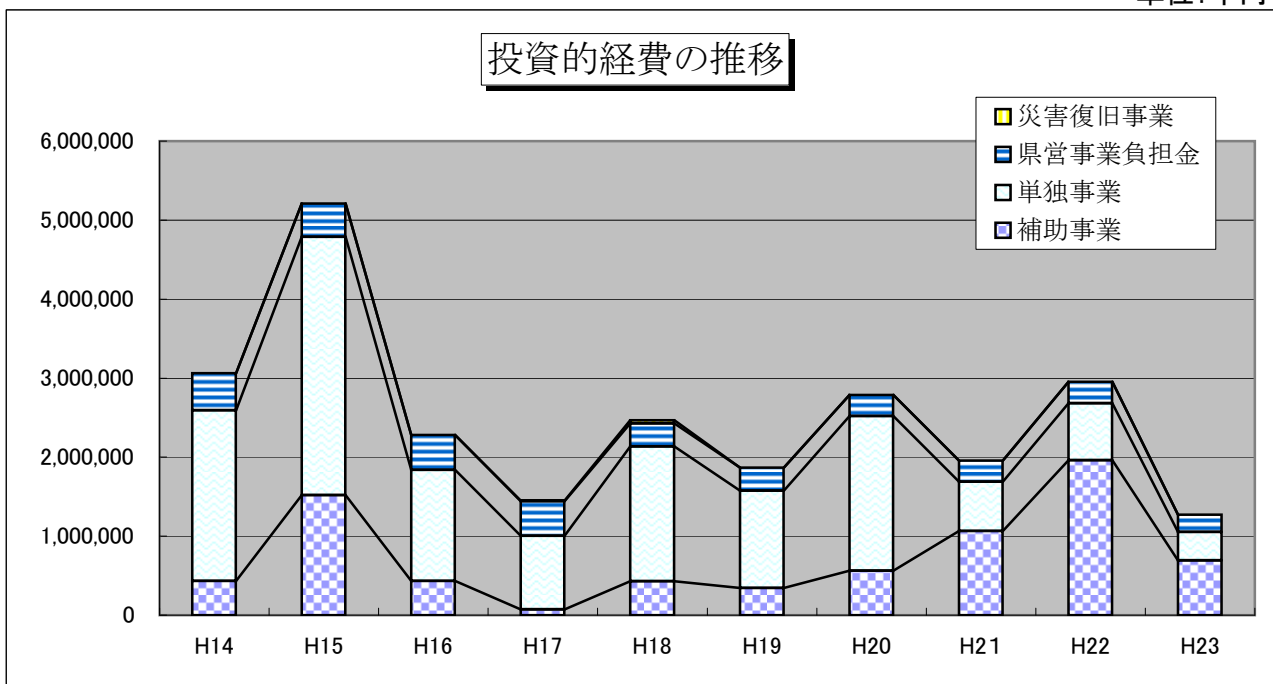
区 分	本年度当初予算額 (A)	前年度当初予算額 (B)	増減額 (A)-(B) (C)	増減率 (C)/(B)
普通建設事業費	1,273,000	1,106,768	166,232	15.0
補助事業	693,071	669,029	24,042	3.6
単独事業	359,951	144,723	215,228	148.7
県営事業負担金	219,978	293,016	△ 73,038	△ 24.9
災害復旧事業	2	1	1	100.0
計	1,273,002	1,106,769	166,233	15.0

## □ 投資的経費の推移

(単位:千円)

年度	補助事業	単独事業	県営事業負担金	災害復旧事業	計	備考
H14	434,301	2,159,995	467,839	0	3,062,135	
H15	1,520,165	3,267,445	422,266	0	5,209,876	
H16	433,506	1,404,565	442,165	0	2,280,236	
H17	71,239	932,948	437,765	8,177	1,450,129	
H18	430,507	1,705,394	290,447	39,263	2,465,611	
H19	343,480	1,233,938	292,078	0	1,869,496	
H20	561,258	1,959,306	265,652	0	2,786,216	
H21	1,063,536	625,049	267,498	0	1,956,083	
H22	1,962,109	719,502	270,016	1	2,951,628	最終予算見込み額
H23	693,071	359,951	219,978	2	1,273,002	当初予算額

単位:千円



※H21までは決算額、H22は繰越明許分を含む最終予算見込み額、H23は当初予算額

## 【 扶 助 費 】

(単位:千円、%)

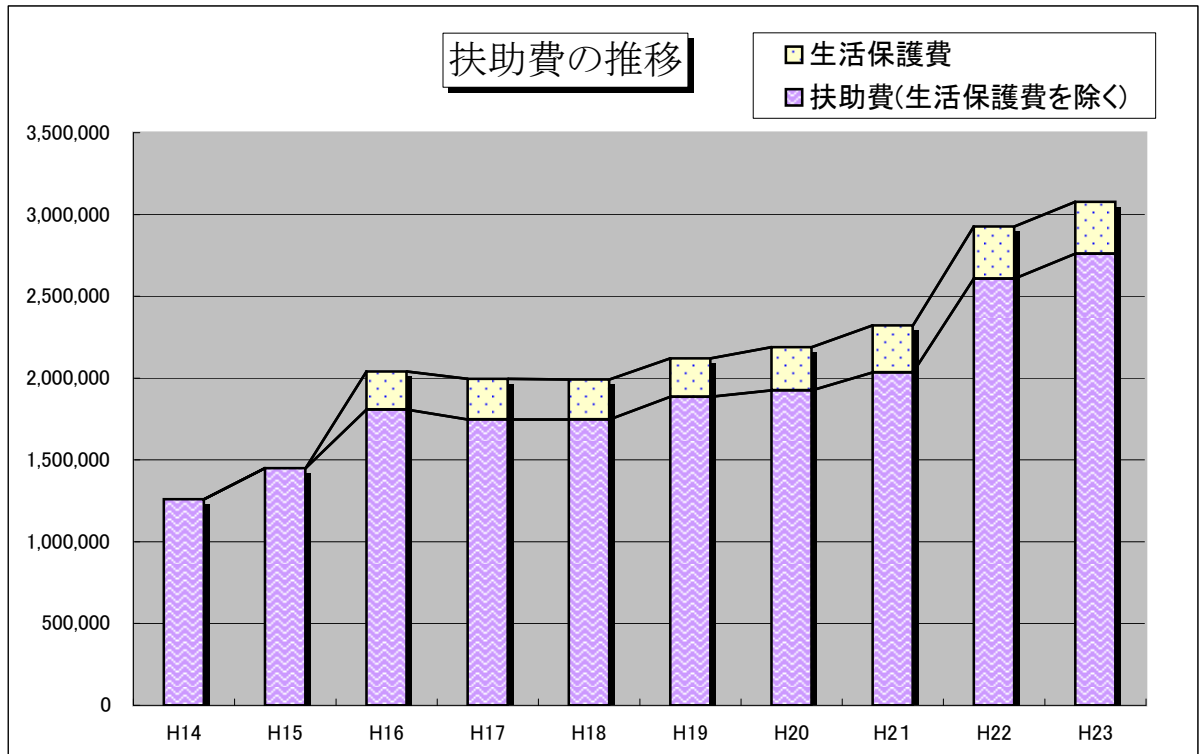
区 分	本年度当初予算額 (A)	前年度当初予算額 (B)	増減額 (A)-(B) (C)	増減率 (C)/(B)
扶 助 費	3,078,210	2,298,261	779,949	33.9
生活保護費	317,600	271,000	46,600	17.2
生活保護費外	2,760,610	2,027,261	733,349	36.2

### □扶助費の推移

(単位:千円)

年度	扶助費(生活保護費を除く)	生 活 保 護 費	計(決算等)	備考
H14	1,259,607		1,259,607	
H15	1,450,629		1,450,629	
H16	1,807,228	233,196	2,040,424	
H17	1,746,348	250,114	1,996,462	
H18	1,747,252	243,507	1,990,759	
H19	1,885,492	234,413	2,119,905	
H20	1,924,130	265,167	2,189,297	
H21	2,034,784	287,329	2,322,113	
H22	2,608,712	317,600	2,926,312	最終予算見込み額
H23	2,760,610	317,600	3,078,210	当初予算額

単位:千円



※H20までは決算額、H21は最終予算見込み額、H22は当初予算額

○ 平成23年度国民健康保険特別会計予算(案)

歳入

[単位:千円]

款	本年度		前年度	比較
		構成比%		
1 国民健康保険税	1,095,444	24.3	1,154,969	△ 59,525
2 一部負担金	2,501	0.0	2,501	0
3 使用料及び手数料	500	0.0	500	0
4 国庫支出金	1,116,104	24.7	1,282,878	△ 166,774
5 前期高齢者交付金	955,530	21.2	785,259	170,271
6 療養給付費交付金	247,969	5.5	223,703	24,266
7 県支出金	204,328	4.5	223,235	△ 18,907
8 共同事業交付金	686,266	15.2	649,353	36,913
9 財産収入	1	0.0	1	0
10 繰入金	199,302	4.4	187,393	11,909
11 繰越金	1	0.0	1	0
12 諸収入	7,708	0.2	7,708	0
歳入合計	4,515,654	100.0	4,517,501	△ 1,847

歳出

[単位:千円]

款	本年度		前年度	比較
		構成比%		
1 総務費	22,812	0.5	23,505	△ 693
2 保険給付費	2,955,027	65.5	2,965,388	△ 10,361
3 老人保健拠出金	550	0.0	4,271	△ 3,721
4 前期高齢者納付金拠出金	1,428	0.0	1,674	△ 246
5 後期高齢者支援金拠出金	533,466	11.8	577,828	△ 44,362
6 病床転換支援金拠出金	200	0.0	500	△ 300
7 介護納付金	251,110	5.6	253,322	△ 2,212
8 共同事業拠出金	692,831	15.4	630,705	62,126
9 保健事業費	41,925	0.9	43,860	△ 1,935
10 基金積立金	1	0.0	1	0
11 公債費	1,461	0.0	1,604	△ 143
12 諸支出金	4,843	0.1	4,843	0
13 予備費	10,000	0.2	10,000	0
歳出合計	4,515,654	100.0	4,517,501	△ 1,847

○ 平成23年度後期高齢者医療特別会計予算(案)

歳 入

[単位:千円]

款	本 年 度		前 年 度	比 較
		構成比%		
1 後期高齢者医療保険料	196,401	27.8	196,028	373
2 使用料及び手数料	38	0.0	55	△ 17
3 繰 入 金	508,543	72.0	489,680	18,863
4 繰 越 金	1	0.0	1	0
5 諸 収 入	1,209	0.2	209	1,000
歳 入 合 計	706,192	100.0	685,973	20,219

歳 出

[単位:千円]

款	本 年 度		前 年 度	比 較
		構成比%		
1 総 務 費	2,041	0.3	2,239	△ 198
2 後期高齢者医療広域連合納付金	702,445	99.5	683,027	19,418
3 保 険 事 業 費	1,000	0.1	1	999
4 諸 支 出 金	206	0.0	206	0
5 予 備 費	500	0.1	500	0
歳 出 合 計	706,192	100.0	685,973	20,219

○ 平成23年度介護保険特別会計予算(案)

歳入

[単位:千円]

款	本年度		前年度	比較
		構成比%		
1 保険料	611,908	16.2	609,810	2,098
2 使用料及び手数料	1,908	0.1	1,408	500
3 国庫支出金	908,666	24.1	855,816	52,850
4 支払基金交付金	1,081,878	28.7	1,022,197	59,681
5 県支出金	594,133	15.8	530,668	63,465
6 財産収入	65	0.0	208	△ 143
7 繰入金	567,552	15.1	501,006	66,546
8 繰越金	1	0.0	1	0
9 諸収入	80	0.0	66	14
歳入合計	3,766,191	100.0	3,521,180	245,011

歳出

[単位:千円]

款	本年度		前年度	比較
		構成比%		
1 総務費	44,400	1.2	37,359	7,041
2 保険給付費	3,600,010	95.6	3,400,000	200,010
3 地域支援事業費	116,356	3.1	78,252	38,104
4 基金積立金	67	0.0	210	△ 143
5 諸支出金	358	0.0	358	0
6 予備費	5,000	0.1	5,000	0
× 財政安定化基金拠出金	0	0.0	1	△ 1
歳出合計	3,766,191	100.0	3,521,180	245,012



○ 平成23年度公共下水道事業特別会計予算(案)

歳 入 [単位:千円]

款	本 年 度		前 年 度	比 較
		構成比%		
1 分担金及び負担金	166,076	6.6	258,342	△ 92,266
2 使用料及び手数料	312,514	12.4	310,131	2,383
3 国庫支出金	650,000	25.7	532,000	118,000
4 財産収入	114	0.0	372	△ 258
5 繰入金	664,350	26.3	601,443	62,907
6 繰越金	1	0.0	3,000	△ 2,999
7 諸収入	1,073	0.0	5,081	△ 4,008
8 市債	732,000	29.0	530,500	201,500
歳入合計	2,526,128	100.0	2,240,869	285,259

歳 出 [単位:千円]

款	本 年 度		前 年 度	比 較
		構成比%		
1 下水道総務費	104,616	4.2	114,149	△ 9,533
2 施設管理費	244,942	9.7	215,724	29,218
3 下水道事業費	1,374,814	54.4	1,124,704	250,110
4 公債費	798,755	31.6	783,291	15,464
5 諸支出金	1	0.0	1	0
6 予備費	3,000	0.1	3,000	0
歳出合計	2,526,128	100.0	2,240,869	285,259

○ 平成23年度集落排水事業特別会計予算(案)

歳入 [単位:千円]

款	本年度		前年度	比較
		構成比%		
1 分担金及び負担金	49,543	17.6	57,549	△ 8,006
2 使用料及び手数料	43,023	15.3	39,123	3,900
3 県支出金	24,554	8.7	26,792	△ 2,238
4 財産収入	29	0.0	68	△ 39
5 繰入金	164,707	58.4	171,056	△ 6,349
6 繰越金	1	0.0	1,000	△ 999
7 諸収入	4	0.0	11,006	△ 11,002
歳入合計	281,861	100.0	306,594	△ 24,733

歳出 [単位:千円]

款	本年度		前年度	比較
		構成比%		
1 総務費	72,588	25.8	108,491	△ 35,903
2 施設管理費	64,047	22.7	59,485	4,562
3 公債費	144,225	51.2	137,618	6,607
4 諸支出金	1	0.0	0	1
5 予備費	1,000	0.3	1,000	0
歳出合計	281,861	100.0	306,594	△ 24,733

○ 平成23年度押切外四ヶ大字財産区特別会計予算(案)

歳入 [単位:千円]

款	本年度		前年度	比較
		構成比%		
1 財産収入	5,011	86.4	5,026	△ 15
2 繰入金	778	13.4	963	△ 185
3 繰越金	1	0.0	1	0
4 諸収入	10	0.2	10	0
歳入合計	5,800	100.0	6,000	△ 200

歳出 [単位:千円]

款	本年度		前年度	比較
		構成比%		
1 財産管理費	5,681	97.9	5,967	△ 286
2 予備費	119	2.1	33	86
歳出合計	5,800	100.0	6,000	△ 200

○ 平成23年度少年自然の家特別会計予算(案)

歳入 [単位:千円]

款	本年度		前年度	比較
		構成比%		
1 使用料及び手数料	9,000	50.2	9,480	△ 480
2 財産収入	1	0.0	0	1
3 繰入金	8,204	45.8	9,764	△ 1,560
4 繰越金	1	0.0	1	0
5 諸収入	711	4.0	837	△ 126
歳入合計	17,917	100.0	20,082	△ 2,165

歳出 [単位:千円]

款	本年度		前年度	比較
		構成比%		
1 施設運営費	17,816	99.4	19,982	△ 2,166
2 諸支出金	1	0.0	0	1
3 予備費	100	0.6	100	0
歳出合計	17,917	100.0	20,082	△ 2,165

○ 平成23年度工業団地造成事業特別会計予算(案)

歳入 [単位:千円]

款	本年度		前年度	比較
		構成比%		
1 財産収入	1	0.0	1	0
2 繰入金	47,009	100.0	47,701	△ 692
3 繰越金	1	0.0	1	0
4 諸収入	1	0.0	1	0
歳入合計	47,012	100.0	47,704	△ 692

歳出 [単位:千円]

款	本年度		前年度	比較
		構成比%		
1 工業団地造成事業費	15	0.0	15	0
2 公債費	46,996	100.0	48,387	△ 1,391
歳出合計	47,011	100.0	48,402	△ 1,391

○ 老人保健特別会計予算(廃止)

歳 入

[単位:千円]

款	本 年 度		前 年 度	比 較
		構成比%		
× 繰 入 金	0	0.0	347	△ 347
× 繰 越 金	0	0.0	1	△ 1
× 諸 収 入	0	0.0	1	△ 1
歳 入 合 計	0	0.0	349	△ 349

歳 出

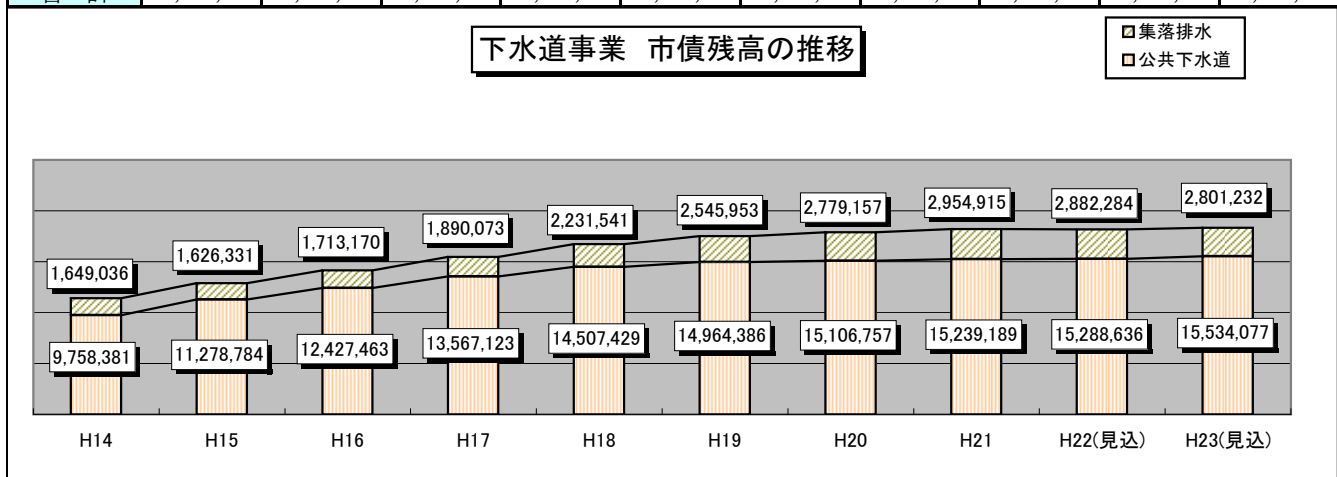
[単位:千円]

款	本 年 度		前 年 度	比 較
		構成比%		
× 総 務 費	0	0.0	115	△ 115
× 諸 支 出 金	0	0.0	134	△ 134
× 予 備 費	0	0.0	100	△ 100
歳 出 合 計	0	0.0	349	△ 349

□阿賀野市の市債残高の推移(公共下水道事業会計及び集落排水事業会計)

(単位:千円)

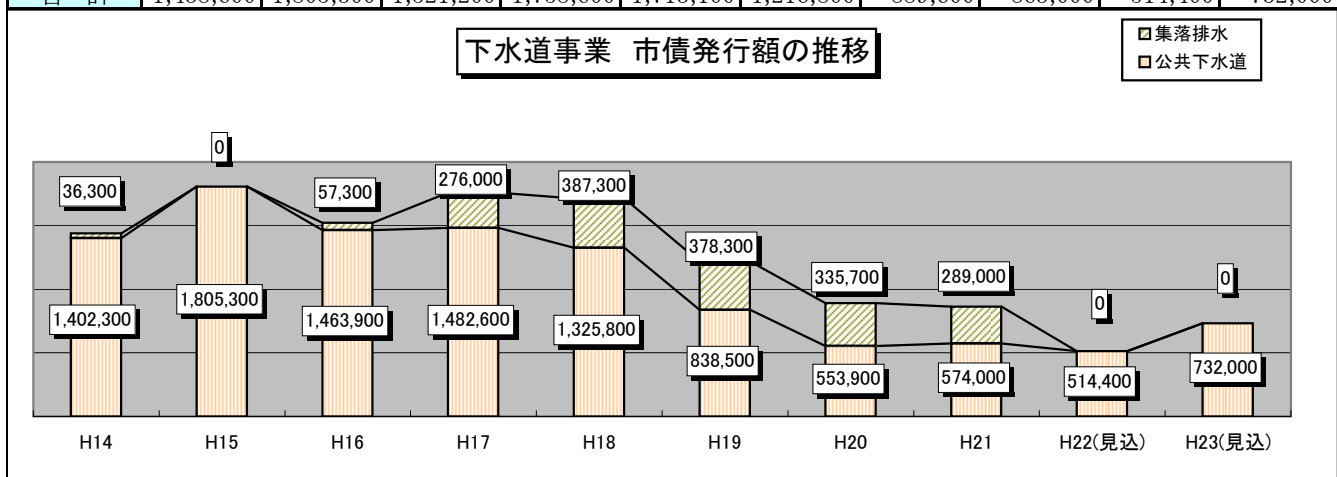
	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22(見込)	H23(見込)
合計	11,407,417	12,905,115	14,140,633	15,457,196	16,738,970	17,510,339	17,885,914	18,194,104	18,170,920	18,335,309



□阿賀野市の市債発行額の推移(公共下水道事業会計及び集落排水事業会計)

(単位:千円)

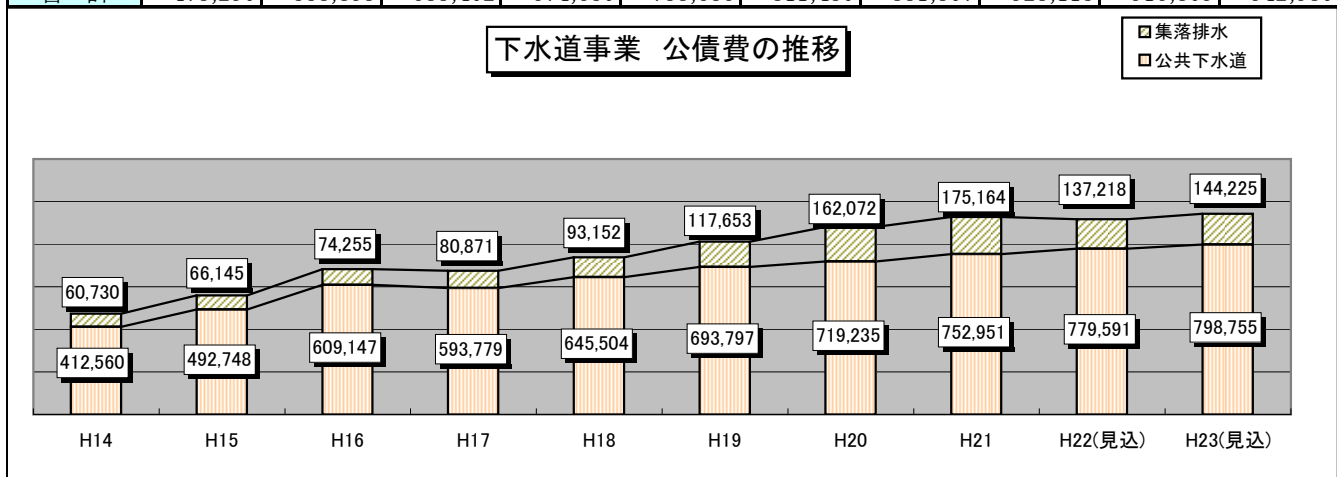
	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22(見込)	H23(見込)
合計	1,438,600	1,805,300	1,521,200	1,758,600	1,713,100	1,216,800	889,600	863,000	514,400	732,000



□阿賀野市の公債費の推移(公共下水道事業会計及び集落排水事業会計)

(単位:千円)

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22(見込)	H23(見込)
合計	473,290	558,893	683,402	674,650	738,656	811,450	881,307	928,115	916,809	942,980



# 平成23年度 各課(局・支所)主要事業一覧(案)

※網掛け部分は合併特例事業、☆は平成23年度重点事業

項目	課局	事業名	建設 計画 等登 載の 有無	新規 ・ 継続	ハード ・ ソフト	事業概要 (事業内容、効果、合併協定の内容、進捗状況等)	所要額: 千円 ( )内は平成 22年度所要額	予算書 ページ
(1)一人ひとりが生き生きと安心して暮らせるまち【福祉・保健】								
①ともにささえあい笑顔で暮らせるまちをつくる								
高齢者福祉の充実	福祉課	介護サービス給付事業	無	継続	ソフト	介護保険制度の根幹事業であり、介護保険施設や居宅サービス等のサービス提供事業者に対し介護報酬の9割を給付する。	3,600,010 (3,400,000)	特会 107~115
		認定審査会運営事業	無	継続	ソフト	介護保険制度の根幹事業であり、介護認定申請者の状態を審査し、状態に応じて「要介護1~5」及び「要支援1・2」に認定する。	8,380 (7,615)	特会 103
		介護保険料徴収事務	無	継続	ソフト	保険料段階の決定・賦課・徴収を行うとともに、保険料未納者に対する徴収強化を図る。	3,663 (3,751)	特会 101
		家族介護継続支援事業	無	継続	ソフト	家族介護の経済的支援として常時紙おむつを必要としている人に対して、紙おむつ等購入にかかる費用の一部を助成し、介護にあたる家族の経済的負担の軽減を図る。	20,005 (18,116)	特会 121
		介護サービス利用者負担助成金支給事業	無	継続	ソフト	介護保険法の規定によるサービス利用について、低所得者等に係る利用者負担額に対して助成することにより、居宅サービスの利用促進及び経済的負担を軽減し、在宅福祉の向上を図る。 介護サービス利用料として支払った額の2分の1を助成する。	5,544 (4,800)	94
		介護予防支援事業	無	継続	ソフト	要介護認定で要支援1・2となった方々を支援するため、介護支援専門員等を配置し介護予防ケアプランを策定する。	9,579 (9,169)	98
		緊急通報装置貸与事業	無	継続	ソフト	一人暮らし高齢者及び身体障害者世帯等に対し、緊急時の不安の解消及び急病等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図るため、緊急通報装置を貸与する。	7,812 (7,712)	96
		二次予防事業 (二次予防事業対象者把握事業) (訪問型介護予防事業)	無	継続	ソフト	基本チェックリストの集約により地域支援事業の対象となる生活機能が低下している65歳以上の高齢者の把握に関する事業。	1,984 (1,458)	特会 117
一次予防事業 (介護予防普及啓発事業) (地域介護予防活動支援事業)	無	継続	ソフト	高齢者一人ひとりが、介護予防に向けた行動を実践するような環境づくりや普及啓発、地域活動組織の育成支援を行う事業。	7,081 (8,223)	特会 117		
障害者福祉の充実	福祉課	重度心身障害者医療費助成事業	有	継続	ソフト	身体障害者手帳1級から3級の所持者及び療育手帳A所持者に対し、通院・入院に係る医療費の一部を助成する。	88,933 (90,436)	92
		障害者自立支援事業	無	継続	ソフト	障害者の自立と社会参加の実現を目指し、障害のある方々が住み慣れた地域や家庭で、安心して快適な日常生活が送れるよう支援するため、障害者自立支援法に基づく各種福祉サービスの利用にかかる扶助費等を支給する。	588,177 (478,679)	92
		重度心身障害者介護手当給付事業	無	継続	ソフト	在宅で長期にわたる介護世帯の経済的・精神的負担軽減のため、常時介護を必要としている寝たきり障害者等を介護している保護者に対し、介護手当を支給する。	18,600 (17,295)	96
		緊急雇用創出事業 (障害者相談支援アシスタント設置事業)	無	継続	ソフト	障害者本人や同居家族に対する相談業務のほか、在宅で不安定な状態になった場合の本人又は家族のサポート体制の強化を図る。	1,596 (1,596)	94

項目	課局	事業名	建設 計画 等登 載の 有無	新規 ・ 継続	ハード ・ ソフト	事業概要 (事業内容、効果、合併協定の内容、進捗状況等)	所要額: 千円 ( )内は平成 22年度所要額	予算書 ページ
社障 の害 充者 実福	福祉課	福祉タクシー利用 助成事業	有	継続	ソフト	心身障害者等の生活行動範囲の拡大と社会参加の促進を支援するため、障害者が利用するタクシー料金の一部を助成する。	3,677 (3,000)	92
子育て支援の推進	福祉課	ひとり親家庭医療 費助成事業	無	継続	ソフト	ひとり親家庭の子育て支援の一環として、親及び児童等に対する通院・入院に係る医療費の一部を助成する。	19,424 (19,010)	102
		公認保育園運営 費負担金事業	無	継続	ソフト	公認保育所(11保育所)運営の効率化・安定化を図るとともに、適正保育の推進を支援するため、国1/2、県1/4、市1/4の割合で運営費を負担する。	687,137 (687,133)	104
		☆ 特別保育事業 (障害児保育事業、 延長保育事業、未 満児保育事業、休 日保育事業、病児・ 病後児保育事業)	有	継続	ソフト	保護者の多様な就労形態に対応し、社会的活動と子育てとの両立を容易にするため、特別保育を実施する公認保育所(9保育所)に補助金を交付する。	157,809 (102,772)	104
		☆ 次世代育成事業 (地域子育て支援セ ンター事業、一時 保育事業)	有	継続	ソフト	保育所に入所していない児童がいる地域の子育て世帯が、子育て支援センターで気軽に遊んだり育児相談を受けたりすることにより、育児不安の解消と子育て世代の仲間づくりを支援する。また、保護者の事情で一時的に家庭で保育が困難になった場合、保育園で一時保育を行なう。	19,056 (19,056)	104
		市単障害児保育 推進事業	有	継続	ソフト	心身に障害を有する児童の公認保育所での受入れを促進し、健常児と同程度の保育を行うとともに、当該障害児の福祉の向上を図る。	10,656 (5,004)	104
		☆ 緊急雇用創出事 業 (子育てママさん 職場復帰サポート 事業)	無	継続	ソフト	子育てママさんが安心して子どもを預け、円滑な職場復帰を支援するための体制整備として、市立保育園3園(ほたる・京ヶ瀬・あやめ保育園)に、主として未満児保育対応のための臨時保育士を各2名(計6名)配置する。	11,189 (11,189)	102
		☆ 児童クラブ事業 (放課後児童対策 事業)	有	継続	ソフト	安全な子育て環境づくりとして、昼間保護者等のいない家庭の小学校に在籍する児童に、適切な遊びと生活の場を提供することにより子育てを支援する。	31,720 (35,935)	112
		子ども手当給付 事業	無	継続	ソフト	次世代の社会を担う子どもの健やかな育ちを応援するため、中学校3年生までを対象に子ども手当を支給し、父母の離婚などにより、父又は母と生計を同じくしていない児童の健やかな成長を願い、児童が育成される家庭の生活安定と自立促進のため、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童(政令で定める程度の状態にある児童については20歳未満)を対象に児童扶養手当を支給する。	1,089,119 ( 0)	102
		☆ ほたる保育園民 営化整備事業	無	新規	ソフト	今後、移行予定法人と保護者、市の三者により協議を重ね、民営化後においてよりよい保育環境が維持できるように施設等の整備を行う。	5,000 ( 0)	110
		☆ あやめ保育園民 営化整備事業	無	新規	ソフト	今後、移行予定法人と保護者、市の三者により協議を重ね、民営化後においてよりよい保育環境が維持できるように施設等の整備を行う。	5,179 ( 0)	110
子ども医療費助 成事業	有	継続	ソフト	子どもの疾病の早期発見及び早期治療を促進するため、子どもの通院・入院に係る医療費の一部をその保護者に助成し、子どもの保健の向上と福祉の増進に寄与する。	83,717 (72,739)	124		
その他	福祉課	生活保護扶助事 業	無	継続	ソフト	生活に困窮している市民に対し、その困窮の程度に応じた必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともにその自立助長を支援する。	318,100 (271,500)	116

※網掛け部分は合併特例事業、☆は平成23年度重点事業

項目	課局	事業名	建設 計画 等登 載の 有無	新規 ・ 継続	ハード ・ ソフト	事業概要 (事業内容、効果、合併協定の内容、進捗状況等)	所要額: 千円 ( )内は平成 22年度所要額	予算書 ページ
その他	福祉課	住宅手当扶助事業	無	継続	ソフト	離職者であって住宅を喪失している又は喪失の恐れがある者に住宅手当を支給し、住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行う。	1,311 (1,748)	116
	企画政策課	地域子育て創生事業	無	新規	ソフト	ワーク・ライフ・バランスを実現するために、子育てや介護・家族などをテーマに、男女がともに働き方を考える機会、男女共同参画を考える機会を提供するため、市民向けの講演会等を開催する。 また、ワーク・ライフ・バランスの実現には、民間事業者の理解、協力が不可欠であることから、事業所・企業を対象とした講演会を開催する。	1,653 ( 0)	60
②健康で暮らせる心のかようまちをつくる								
健康づくりの推進課	健康推進課	休日診療事業	無	継続	ソフト	平成19年1月より市内の医療機関の協力を得て、休日の診療業務を在宅当番制で開始した(平成22年度、協力医療機関10診療所)。受診件数は平成20年度598件、平成21年度747件と増えており、平成21年度は新型インフルエンザの影響もあり効果が大きかった。休日診療が果たす地域住民に対する安心医療への貢献度は大きい。	2,198 (2,165)	120
		地区組織活動育成事業	有	継続	ソフト	健康増進法による生活習慣病対策推進のため、「健康推進委員会」・「食生活改善推進委員協議会」・「運動普及委員会」の主体的な地区組織活動を育成・支援する。併せて組織間の情報共有化を図りながら連携した組織体制を構築し、地域に根付いた市民の健康づくりを推進している。	1,841 (1,841)	120
		精神保健事業	無	継続	ソフト	引きこもりやうつ病、自殺の増加傾向が社会問題化する中、引き続き自殺対策推進協議会を開催し、実態や情報を共有するとともに総合的な自殺対策を図る。また、ボランティア団体とも連携しながら、こころの健康講座や相談会を開催し、誰もが自分らしく生きるやさしいまちづくりを推進している。	1,069 (1,069)	120
		☆ 予防接種事業	無	継続	ソフト	予防接種法の規定により一類疾病及び二類疾病のうち政令で定めるものについて予防接種を行う。また、平成22年度から実施された子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種を推進する。 平成17年度から積極的勧奨を中止していた日本脳炎予防接種が平成22年度から再開し、ワクチン流通の関係から限定的に行われていた接種勧奨を拡大し推進する。	154,186 (50,907)	122
		歯科保健事業	無	継続	ソフト	生涯にわたる歯や口腔の健康を通じ市民の生活の質(QOL)が向上するよう、むし歯予防、歯周病予防、口腔機能向上の推進のため、歯科健診事業、う蝕予防事業(フッ化物洗口・フッ化物塗布)、歯科保健教育事業を継続して行う必要がある。	5,649 (5,860)	122 124
		☆ 母子保健事業	無	継続	ソフト	妊娠・出産・育児に関する異常の早期発見・治療を目的とし健康診査を行うとともに経済的負担の軽減を図る。また健康教育・相談事業を行い、子どもたちの健全な成長、発達を促進する。子育て中の健康・栄養相談や交流の機会を提供し、子育て支援を行う。親子あそびを通して母と子の絆を深め、育児不安の解消に努める。(妊産婦・新生児訪問、妊婦一般健康診査助成1人14回、乳幼児健康診査、離乳食講習会、育児に関する各種教室、相談事業)	38,362 (36,924)	124
		特定不妊治療助成事業	無	継続	ソフト	不妊治療においては身体的・精神的負担のみならず、経済的な負担も大きく、諦めざるをえない人もいる。本事業で経済的支援を行い、安心して治療を受けられることを目的とする。特定不妊治療(体外受精及び顕微授精(凍結胚移植を含む))に要した費用の一部を助成する。対象者:法律婚、所得制限あり 助成額:1治療あたり上限10万円を年度1回まで。期間の制限:通算5年間	800 (1,120)	124



項目	課局	事業名	建設計画等登録の有無	新規・継続	ハード・ソフト	事業概要 (事業内容、効果、合併協定の内容、進捗状況等)	所要額: 千円 ( )内は平成 22年度所要額	予算書 ページ
健康づくりの推進	健康推進課	健康増進対策事業	無	継続	ソフト	健康増進対策事務費、総合健診事業費、各種検診事業費、保健指導事業費、健康教育・健康相談事業費を統合。特定(一般)健診、特定保健指導、各種がん検診の受診率向上に努め、糖尿病やがん等の生活習慣病の早期発見、早期治療に結び付けることで、医療費の抑制のみならず健康で幸せな生活が送れることにつながる。	52,663 (2,676)	126
		中学生生活習慣病予防事業	無	継続	ソフト	生活習慣病及びその予備群の早期発見と自分の体や生活習慣を考える機会とするため、中学2年生を対象に血液検査・血圧測定・生活実態調査を行う。予防活動として授業を実施する。また保護者に対し、健康相談を行い、受診を要する生徒をフォローする。	809 (857)	126
		健康づくり事業人間ドック	無	継続	ソフト	健診を受ける機会を広く提供するために、人間ドック事業を実施する。市民の健康意識を高めて予防に努め、年々増加する医療費の抑制を図る。 @15,000円×1,205人	18,075 (20,100)	特会 51
		健康づくり事業運動教室	無	継続	ソフト	市民の健康維持と体力づくりのため、地域の集会場等で開催される運動教室に運動推進員を派遣するもので、開催される地域の拡大を図る必要がある。 @3,000円×125回	375 (375)	特会 51
		☆特定健診・特定保健指導事業	無	継続	ソフト	特定健診受診率向上に努める。特定保健指導を重点的に取り組むことにより、内臓脂肪症候群を減らして医療機関に受診する前の段階の予防に努め、医療費の抑制を図る。	23,475 (23,385)	特会 51
医療体制の充実	企画政策課	病院事業管理	無	継続	ソフト	公設民営化後の水原郷病院の経営改善に関する進捗状況管理及び指定管理者との連絡調整を行う。 また、平成21年3月に策定した公立病院改革プランの評価・検証を行うため病院経営改革審議会(専門家・有識者からの参画を願う)の運営を行う。 併せて、これらについて市民への周知、広報活動を行う。	376 (52)	62
	健康推進課	新潟水俣病相談窓口設置事業	無	継続	ソフト	平成20年度より県の委託を受けて相談窓口を開始した。阿賀野川流域の水俣病関係の3市1町の中でも当市の患者数は多く、相談窓口の利用者数は増加している。また、平成21年7月に水俣病未認定患者特別措置法が成立。これを受けて平成22年5月から申請受付が開始された。県は平成23年度も流域市町の相談窓口設置を継続する。	2,000 (2,047)	122
元気の推し進め	企画政策課	☆阿賀野スタイル健康福祉事業	無	継続	ソフト	市の大きな課題である「高齢者問題」に積極的に対処するため、高齢者対策の「阿賀野スタイル」を確立し、福祉都市の実現を図る取り組み。	1,412 (1,940)	60
(2)人をはぐくみ、教育と文化が輝くまち【教育・文化】								
①生きる力と学力の育つまちをつくる								
少子化への対応と安全対策	学校教育課	☆学校施設耐震化大規模改修事業費	有	継続	ソフト	学校施設の耐震化及び大規模改修を計画的に推進するため、安野小学校の耐震化事業として、耐震第2次診断・補強設計業務委託と同校大規模改修設計業務を委託する。	40,565 (36,578)	216
		☆水原中学校整備事業費	有	継続	ソフト	平成24年度改築工事着手に向け、実施設計業務を委託する。	58,162 (22,591)	220
		通学バス運行事業	有	継続	ソフト	遠距離児童生徒の登下校の安全及び遠距離通学の適正化を図るため、阿賀野市通学バス運行及び管理条例に基づき通学バスを運行する。	60,896 (35,459)	204
		防犯ブザー配布事業	有	継続	ソフト	小学校新1年生に防犯ブザーを配布し、登下校時の児童生徒の安全を確保する。	123 (126)	206

※網掛け部分は合併特例事業、☆は平成23年度重点事業

項目	課局	事業名	建設 計画 等登 載の 有無	新規 ・ 継続	ハード ・ ソフト	事業概要 (事業内容、効果、合併協定の内容、進捗状況等)	所要額: 千円 ( )内は平成 22年度所要額	予算書 ページ
幼・小・中学校教育の充実	学 校 教 育 課	適応指導教室運営事業	無	継続	ソフト	学校への適応が出来ず、不登校になった児童生徒に対し、適応指導教室を設置し、学校への復学を促す。	2,560 (2,616)	206
		小中一貫教育事業	無	継続	ソフト	笹神地区の小学校2校と同中学校を対象に小中一貫教育を試行し、教育課題である中学校における小学校からの学力の維持やいじめ不登校の解決に向けた大きな力とする。	90 (90)	206
		コンピュータ教育環境整備事業	有	継続	ソフト	児童生徒が学校内でインターネットやコンピュータを活用できる教育環境を整備し、情報教育の推進を図る。小学校35,967千円。中学校17,527千円。	53,494 (49,116)	214 220
		就学援助事業	無	継続	ソフト	児童生徒の適正な就学を図るため、要保護及び準要保護児童生徒に就学援助を行う。小学校250名19,372千円。中学校140名15,775千円。	35,147 (36,371)	216 222
		☆緊急雇用創出事業 (教育指導困難校サポート事業)	有	新規	ソフト	教育指導の成り立たない学級に対して、その原因となっている児童生徒の対応に当たると共に、学級全体が通常の授業運営を実施できるよう、授業をサポートする教員を配置する。幼稚園2名3,302千円。小学校4名8,235千円。中学校4名8,235千円。緊急雇用創出事業に新たに該当させる。	19,771 ( 0)	208
		☆ALT招致事業	有	継続	ソフト	外国語指導を行う外国人を3名招聘し、市内児童生徒の外国語教育指導の充実を図ると共に、交流を通じ国際理解の推進を図る。小学校では、新学習指導要領に基づく外国語学習(英語学習)導入のために、英語授業の充実を図るため。	14,175 (15,425)	222
		私立幼稚園就園奨励費補助事業	無	継続	ソフト	私立幼稚園設置者が保育料等を減額又は免除する場合に補助金を交付し、幼稚園への就園奨励を図る。	9,296 (9,319)	224
不登校児童生徒訪問指導事業	無	継続	ソフト	学校における生徒指導のほか、最近特に問題となっている不登校児童生徒に対して家庭訪問により登校を促し、学校生活の復帰に向けた総合的な支援をする。	360 (360)	208		
教育センター機能の充実	学 校 教 育 課	特別支援教育推進事業費	無	継続	ソフト	障がい児や発達障がいを持つ幼児、児童、生徒に特別な支援を要する体制の整備、関係機関相互連携の強化の実現を図る。	114 (114)	206
		教育相談員事業	有	継続	ソフト	学校への適応が出来ない恐れのある児童生徒や保護者に対する教育相談、様々な教育に関する相談を行うため、教育相談員を配置する。	1,499 (1,536)	206
		教育指導主事事業	有	継続	ソフト	学校の管理運営、教育研究、生徒児童・教育相談、就学指導、特別支援教育等の教育活動を円滑に実施するため、教育指導主事を確保し、学校に対する適切な指導、助言を行う。	7,969 (7,970)	206
		☆介助員配置事業	有	継続	ソフト	LD、ADHD、高機能自閉症や体に障害を持つ児童生徒の適正就学を図るため、障害児の状況により介助員を配置する。小学校28名32,773千円。中学校4名5,208千円。	37,981 (34,953)	214 220
その他	学校教育課	駒林分校運営事業費	無	継続	ソフト	平成21年度4月に開校した県立新潟養護学校駒林分校のスクールバス運行に要する経費について、運営団体に対して補助金を交付する。	1,245 (1,283)	208
②豊かな心と輝く個性をはぐむまちをつくる								
生涯学習の人生	生涯学習課	成人式	無	継続	ソフト	平成17年度から全市統一し、5月4日に期日決定して実施。各中学校ごとに実行委員を募り、式典の計画や運営等を行う。新成人の主体的な取り組みを育み協力を得ることで成人としての自覚を促し、ふるさとへの愛着やまちづくり参加への機会とする。	1,071 (1,094)	234

項目	課局	事業名	建設 計画 等登 載の 有無	新規 ・ 継続	ハード ・ ソフト	事業概要 (事業内容、効果、合併協定の内容、進捗状況等)	所要額: 千円 ( )内は平成 22年度所要額	予算書 ページ
生涯学習の 人づくり	生涯学習課	こだま事業	無	継続	ソフト	自然体験学習や社会体験、異年齢同士の活動交流等の体験活動をとおして、親子のふれあいを深め、子どもたちの社会性や豊かな心を育む。また、各事業を通じて市内ボランティア団体又は支援者と連携し各団体の持っている専門的知識の活用や、地域ボランティアの発掘、指導者の育成・養成を行っていく。	132 (132)	236
		子ども読書活動推進事業	無	継続	ソフト	子ども読書活動の推進に関する法律に基づき、阿賀野市子ども読書活動推進計画を策定するための検討委員会を立ち上げる。検討委員会を構成する者は、PTA、図書館協議会、学校関係者、幼保関係者、子育て支援等の関係者とし、定期的に会議を開催する。	79 (150)	236
		☆ 地域子育て創生 事業	無	新規	ソフト	① 初めての絵本贈呈事業 親子で絵本に親しむ環境を創出する事業で、4か月健診時に絵本リストを配布しその中から絵本3冊を贈呈する。 ② ベビーシート設置事業 地域におけるきめ細かな子育て支援活動をより促進させるために、子育て世代の親子が活用している地区の図書館等のトイレにベビーシートとダストボックスを設置する。 ③ 子どもと本のかけ橋事業 未就園児や乳幼児を対象とした子育てサークルの支援や子育て世代の親同士のコミュニケーション醸成を支援する。	1,855 ( 0)	242 244
青少年の 健全育成	生涯学習課	青少年健全育成事業	無	継続	ソフト	青少年の健全育成と非行防止の活動を推進し、明るく豊かな青少年を育成することを目的に、活動の重点を次の7つとする。①指導員による市内巡回指導 ②青少年を取りまく社会環境の実態調査 ③相談員による電話相談・面接相談 ④広報「育成あがの」の年6回発行 ⑤関係機関との連携。さらに努力事項として、明るい家庭づくり運動に関する作文コンクールを実施し、『家庭の日』の普及を図る。⑥クリーン作戦の実施⑦中学生による、「わたしの主張市大会」の開催。	3,612 (3,582)	114
		青少年交流健全育成事業 (ふるさとウォーク)	無	継続	ソフト	市内中学生を対象に約15キロメートルを歩くふるさとウォークを実施。市内を歩き見て、ふるさとの良さを学び、仲間との協調性や友情を深めることで社会性を養い、自主的な活動の中で問題解決力を身につけ、豊かな心を養う。	291 (286)	236
		青少年交流健全育成事業 (やまびこキャンプ)	無	継続	ソフト	市内の小学校高学年(5、6年生)を対象とし、集団生活での規則や異年齢交流、奉仕活動を通じて社会性や連帯感を養うことを目的とする。	370 (490)	236
		家庭教育ゆめ事業	無	継続	ソフト	家庭、学校、地域が連携し家庭教育の向上を目指すことを目的とする。学校(園)が実施する家庭教育関連の事業で市が助成対象とするものは、原則として外部講師(指導者)による講演会や実技指導等に要する謝礼等とする。	300 (300)	238
阿賀野文化の 創造	生涯学習課	文化祭・芸能発表会	無	継続	ソフト	市民の芸術文化活動への関心と水準を高めるため、地域の特徴を活かした鑑賞・発表の機会を提供するとともに、実行委員会制による市民参画の推進を図りながら芸術文化を推進する。	534 (534)	238
		指定文化財の保護管理	無	継続	ソフト	市教委が所有・管理する国・県・市指定等の文化財の保護・管理を実施する。主な内容①「梅護寺の珠数掛ザクラ」後継樹の保護・育成を適正に実施する。②市所蔵管理の古文書類や民俗資料のくん蒸処理による適切な保護管理の実施。③重要と考えられる文化財を保護するため、指定などに向けて調査を実施する。	153 (383)	236 238
		市内遺跡調査	無	継続	ソフト	文化財保護法の定めにより、公共・民間開発行為により影響を受ける遺跡について、調査(立会い・試掘・確認)を実施し、保護を図る。主な内容①安野川小里川改修工事に伴う確認調査の実施。②民間会社造工などに伴う確認調査の実施。	3,704 (38,709)	238

※網掛け部分は合併特例事業、☆は平成23年度重点事業

項目	課局	事業名	建設計画等登録の有無	新規・継続	ハード・ソフト	事業概要 (事業内容、効果、合併協定の内容、進捗状況等)	所要額: 千円 ( )内は平成 22年度所要額	予算書 ページ
阿賀野文化の創造	生涯学習課	市内遺跡出土遺物整理	無	継続	ソフト	市内遺跡で実施された発掘調査について報告書作成・刊行に向けて出土遺物資料などの整理作業を実施する。主な内容①市道改修関連調査遺跡(山口野中遺跡など)の整理作業。②各遺跡の出土遺物資料などの整理作業の実施。	8,031 (4,764)	238
		文化財資料公開活用	無	継続	ソフト	市民の財産である各種文化財資料の調査成果の公開と活用を図る。主な内容①文化財講座・体験学習の開催。②市内学校などと連携して出前授業や文化財案内の実施。③発掘調査の現地説明会の実施など。	200 (200)	238
その他	生涯学習課	社会教育関係団体支援・育成事業	無	継続	ソフト	文化協会・PTA連絡協議会・子ども会等への補助金を交付することにより、各団体の活性化を推進するとともに、併せて明るく活力に満ちた教育文化の「まちづくり」に大きく貢献できる。	1,282 (1,282)	236
③「市民ひとりスポーツ」のまちをつくる								
生涯スポーツの振興	生涯学習課	B&G海洋センター活用事業	無	継続	ソフト	例年実施している水泳教室に加え、高齢者を対象とした水中での転倒予防教室、小学生を中心としたカヌースクールを開催し、市民の健康増進を図るとともに、施設の利用実績向上を図る。	112 (112)	250
		ニュースポーツ等大会開催事業	無	継続	ソフト	ビーチボールバレー大会等のニュースポーツや市民に親しまれている大会(市民ナイターソフト等)を年間を通じてタイムリーに開催し、ニュースポーツの普及振興を図りながら、市民の健康増進と併せ親睦と融和を図る。	645 (635)	250
		スポーツ教室・講習会等開催事業	無	継続	ソフト	ニュースポーツ等の各種スポーツ体験会や、中高年齢者対象の健康づくり教室を開催することにより、市民のスポーツや運動に対する意識を高め、地域スポーツの振興と市民の健康増進を図る。	301 (281)	250
		スポーツ大会出場選手激励費交付事業	無	継続	ソフト	市民のスポーツへの関心を高め、競技力の向上を図る。北信越大会以上の大会に出場する選手・監督等に対して激励費(小・中学生は北信越大会5千円上限、全国大会10千円上限。一般は10千円上限)として支給。	1,500 (1,100)	250
		スポーツ振興団体活動支援事業	無	継続	ソフト	スポーツ活動を通じ、市民の体力の向上と健全な心身の発展を図ることを目的に、競技力向上を目指した講習会や大会の開催等の各スポーツ振興団体の活動を支援する。	5,360 (5,310)	250 252
その他	生涯学習課	☆生涯学習ビルド'20	無	継続	ソフト	課内において、生涯学習課が所管する施設の整備・再編に関する検討を行い、平成31年度(2020年)までの整備方針と再編計画について協議する。(平成21年9月から実施しており、引き続き行うものである。)	0 (0)	-
(3)人と自然が共生する安全なまち【生活環境】								
①安全に暮らせるまちをつくる								
災害に強いまちづくり	総務課	自主防犯団体活動推進事業	無	継続	ソフト	犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進するため、地域における自主防犯団体の活動促進を図る。	300 (300)	66
		自主防災組織育成事業	無	継続	ソフト	災害時要援護者の避難体制を推進するため、地域における防災活動の主体的な役割を担う団体の育成を図る。	400 (400)	200
		☆緊急告知FMラジオ整備事業	無	新規	ハード	災害等緊急時における情報伝達手段を整備する。現在は、安田地区を除く3地区では、同報系の情報伝達手段がないため、災害時等は広報車または自治会長への電話連絡等により情報を伝達している。当該事業を実施することにより、全自治会及び土砂災害発生の危険性がある地区に、速やかに情報を伝達することが可能になり、災害被害の軽減を図ることができる。	16,063 ( 0)	200

項目	課局	事業名	建設計画等登録の有無	新規・継続	ハード・ソフト	事業概要 (事業内容、効果、合併協定の内容、進捗状況等)	所要額: 千円 ( )内は平成 22年度所要額	予算書 ページ
災害に強いまちづくり	総務課	土砂災害ハザードマップ作成事業	無	継続	ソフト	平成21年度に土砂災害警戒区域として指定された5地区(女堂・湯沢・勝屋・出湯・今板)のハザードマップを作成し、対象地区に配布することにより、土砂災害に対する意識の高揚を図り、併せて災害被害の軽減を図る。	156 ( 0)	200
	建設課	都市計画総務費(木造住宅耐震支援事業費)	有	継続	ソフト	木造住宅の耐震化を図るため、昭和56年以前に建築された木造住宅の耐震診断・耐震設計・耐震改修に掛かる費用の一部助成を行い、市民生活の安全性確保を図り、安心安全なまちづくりを目指す。 平成21年度から制度化され、国・県からの補助・交付金を活用し、継続して耐震化事業の支援を実施する。	5,757 (5,650)	186
	消防本部	阿賀野市消防大会	無	継続	ソフト	ポンプ操法競技大会を実施することにより、非常時における確かな操法操作を身に付けると共に、その技術向上のために訓練を重ねることで消防人としての意識の向上を図る。	1,485 (1,485)	194
		消火栓用ホース格納箱等購入費助成事業	無	継続	ソフト	平成20年度からの継続事業で、自治会が初期消火活動を行うために公設消火栓に備えるホース格納箱等を購入し、又、更新する費用を助成することにより、経費の負担の軽減を図り、防災意識の向上に寄与する。	800 (800)	196
		救助工作車整備事業	有	新規	ハード	平成5年度導入した京ヶ瀬分遣所に配備している救助工作車の老朽化に伴う更新で消防力の維持を図る。	85,326 ( 0)	194
		☆高機能指令センター(消防緊急通信指令施設)の更新	有	継続	ハード	平成22・23年度2箇年計画で更新する平成7年度導入の消防緊急通信指令施設の老朽化で119番通報の受信から出動指令・事案管理までの消防活動一連の円滑な業務を維持する。	59,000 (39,000)	198
	救急救命士の育成による救命率の向上を図る	無	継続	ソフト	本署・安田分遣所に配置の救急救命士を、気管挿管や薬剤投与等、より高度な医療行為のできる救急救命士に養成し、救命率の向上を図る。	3,124 (3,084)	198	
	☆消防救急無線デジタル化事業	有	新規	ハード	全国の消防・救急無線を平成28年に運用開始をめどに、県民が安心して暮らせるためには無線による情報の収集・伝達をより確実なものとし、防災に対する万全の体制を整備することが急務であり、無線デジタル化の早期実現がのぞまれており、個人情報保護の確保や、同時多発災害時及び大規模災害時における無線の混信を回避し、自治体相互の応援活動に大きな成果がある。	6,600 ( 0)	198	
	阿賀野市総合防災訓練	無	継続	ソフト	地域防災のため、阿賀野市総合防災訓練を実施し、市民の防火意識の高揚を図る。	491 (708)	194	
	現場活動防火衣のセパレート化事業	無	継続	ソフト	平成21年度からの継続事業で市民が安全に安心して暮らせるには、その根底で職務遂行にあたる職員の安全で安心な活動体制作りからと考え、火災出動時の防火服を耐熱・軽量・強度・機能性に優れたセパレート型に変更する。	5,104 (1,791)	192	
通防推進・交通安全の交	総務課	交通安全対策事業	無	継続	ソフト	交通弱者といわれる高齢者及び幼児・児童に対する交通安全対策事業を重点的に推進することにより、市民の交通事故の防止を図る。	6,244 (6,262)	64
その他	市民生活課	法律相談	無	継続	ソフト	月2回(1・5・8月は1回)、一回30分で6人という単位で市民の相談に対応しており、毎回ほぼ満杯の状況である。市民が抱えている様々な問題の解決に向けた一助となっており、市民からの評判も良い。	690 (690)	66
②地球環境にやさしいまちをつくる								
環境の形成と健全な社会の実現	市民生活課	一般廃棄物収集処理事業	無	継続	ソフト	委託業者により、ごみステーションに排出された家庭ごみの収集・運搬を行う。	224,642 (219,838)	130

※網掛け部分は合併特例事業、☆は平成23年度重点事業

項目	課局	事業名	建設計画等登録の有無	新規・継続	ハード・ソフト	事業概要 (事業内容、効果、合併協定の内容、進捗状況等)	所要額: 千円 ( )内は平成 22年度所要額	予算書 ページ
環境にやさしい循環型社会の形成と環境保全の充実	市民生活課	し尿収集処理事業	無	継続	ソフト	委託業者により、市内で発生するし尿の収集・運搬を行う。	59,951 (60,218)	130
		不法投棄対策事業	有	継続	ソフト	テレビ放送が地上デジタル放送へ完全移行することに伴い、既存のテレビが多数廃棄されることが予想されるため、これらが不法投棄されることのないよう啓発・監視活動に取り組む。 ○看板設置 ○環境保全巡回員による巡回	1,181 (731)	130
		☆阿賀野市環境基本計画作成事業	有	新規	ソフト	環境基本計画とは、環境保全に関する施策を総合的・計画的に推進するため、環境保全の目標、実施すべき施策、各主体の取組事項等を体系的に整理したもの。 ・策定に要する期間:最低でも2箇年を要する。 1年目:基礎資料の収集、住民アンケートなどの基礎調査、住民会議等の開催など。 2年目:各種審議、各意見などを踏まえた計画策定作業。 平成23・24年度2箇年合計額22,355千円	9,785 ( 0)	134
		緊急雇用創出事業 (ごみ資源強化事業)	無	新規	ソフト	家庭ごみの再資源化を図るため、ごみステーションの巡回指導等を行う。 《主な活動》 ○ごみステーションの巡回パトロール ○分別排出実態調査 ○抜き取りの取り締まり及び表示看板の設置	5,841 ( 0)	132
		ごみ処理対策事業	有	継続	ソフト	ごみの収集に伴う生活環境の保全並びに生ごみの資源化を進めるため、自治会によるごみ収集箱の設置・修理や、個人による生ごみ処理器の導入に対し助成を行う。 ○ごみステーション設置・修理 17基 ○生ごみ処理器設置 10台 ○ごみ飛散防止等用具設置 20か所	1,330 (1,510)	130
		ごみ処理業務委託(焼却灰運搬処分)	無	継続	ソフト	最終処分場の延命のため、平成19年度から山形県にある民間業者に焼却灰の処分を委託することで、施設利用が後10年位可能。平成22年度から平成26年度まで債務負担行為で年間処分委託量として年間600tを予定している。	12,537 (13,387)	132
		施設等修繕	無	継続	ハード	経年劣化等により修繕が必要な各種機械等を修繕し、最終処分場同様延命化を図る。	12,040 (2,700)	132
	ごみ処理施設年間定時改修工事	無	継続	ハード	経年劣化等により修繕が必要な各種機械等を計画的に、点検整備等をし施設の延命化を図る。	13,808 (16,538)	134	
	商工観光課	☆住宅用太陽光発電設備補助事業	無	新規	ソフト	住宅用太陽光発電システムの普及促進を図り、クリーンエネルギーを積極的に利用するまちづくりを推進するため、システムの設置者に対して住宅用太陽光発電システム設置費補助金を交付する。	3,000 ( 0)	160
		電気自動車環境整備事業	無	新規	ハード	電気自動車・プラグインハイブリッド車充電スタンド整備の普及促進を図り、エコのまちづくりを推進するもの。	5,911 ( 0)	162
(4)にぎわいを創出する産業のまち【産業・経済】								
①自然の恵みを生かした食の宝庫のまちをつくる								
農業者の 改善と 担い手の 育成	農林課	新規就農者支援事業	無	新規	ソフト	新たに農業を始めようとする(後継者を含む)意欲ある人に対し、研修会費用等の経費を補助し、農業者としての資質向上を目的とする。	200 ( 0)	140
農業生産 の基盤 整備	農林課	☆中山間地域等直接支払交付事業	有	継続	ソフト	中山間地における農地保全、生産活動の維持促進のため支援し、荒廃農地の解消と農業用施設の機能向上等、山間地域での農業・農村の維持保全に努める。	16,309 (15,149)	142

項目	課局	事業名	建設計画等登録の有無	新規・継続	ハード・ソフト	事業概要 (事業内容、効果、合併協定の内容、進捗状況等)	所要額: 千円 ( )内は平成 22年度所要額	予算書 ページ
農業生産基盤の整備	農	島田地区湛水防除事業《県営事業負担金》	有	継続	ハード	笹神地区市道発久泉線から山倉地内までの延長L=2,900mについて改修を行い、蒔田、下福岡、島田、南沖山、山倉一帯の湛水解消による災害防止に努める。	19,250 (30,800)	144
		安野川地区湛水防除事業《県営事業負担金》	有	継続	ハード	一級河川安野川及び大荒川、農業排水小里川の総延長L=13,900mの改修及び排水機場1箇所の改築により大野地区、小里地区などの湛水・浸水の常習地帯を解消し、阿賀野市の災害防止に努める。	160,784 (186,850)	144
	林	広域農業用水適正管理対策事業《団体営事業負担金》	無	新規	ハード	住民の安全と農地の保全を図るため、住宅地等に陥没箇所が見られる旧南耕、旧新江隧道の閉鎖工事を行い、生活環境の安全性確保と農地の維持保全に努める。	4,310 (3,434)	146
	課	農地・水・環境保全向上対策事業	有	継続	ハード・ソフト	農業・農村の環境保全向上活動に積極的に取り組む組織に支援し、農村環境の保全及び安全で安心な農産物の栽培に努める。 更に、新たな制度である「環境保全型直接支払制度」を活用し、米をはじめとする農産物の有機栽培に取り組む農業者・組織を支援する。	9,420 (9,500)	146
農産物の安定供給と地域に根ざした農業の推進	農	農作物体験学習田事業	有	継続	ソフト	市内小学校の児童等が、一般農家が耕作する農地で、田植えや稲刈りなどの農作業を体験することにより食農教育に努める。	855 (880)	140
		☆土づくり促進事業	有	継続	ソフト	農業生産に欠かすことの出来ない「土づくり」のため、パイオ資源の活用による有機堆肥の散布を推進し、安定した良質米・園芸作物の栽培振興に努める。 1,100ha×1,000円/10a	11,000 (12,500)	142
		有害鳥獣捕獲事業	無	継続	ソフト	有害鳥獣等による農作物等の被害を防止するため、猟友会の協力による駆除に努める。 また、猿害対策活動に係る猟友会への支援並びに猿害対策会議加入自治会員の狩猟免許(わな)取得を支援する。 (5,000円×20匹=100千円+免許取得5,200円×10人=52千円=152千円)	1,124 (860)	142
		阿賀野市産地づくり総合支援事業	有	継続	ハード・ソフト	農業経営の安定化と産地化を目指すため、主要園芸作物の栽培に取り組む意欲的な農業者・組織を支援する。 大豆作付振興4,820千円、園芸作物振興1,500千円	6,320 (11,300)	144
	林	園芸振興事業	無	新規	ソフト	農業経営の安定化と産地化を目指すため、既存の園芸作物にとどまらず、新たな品種の栽培に係る権利取得経費等を支援する。(切り花菊生産振興のため、権利取得費210,000円×2品種×1/2を支援)	210 ( 0)	142
	課	利子補給事業	無	継続	ソフト	既存事業である基盤強化資金利子助成をはじめ、平成22年度補正予算により対応した緊急経営安定対策資金の利子補給を継続することにより、安定した農業経営を支援する。	2,331 (1,656)	142
	☆農業振興地域整備計画事業	無	継続	ソフト	5年おきに整備計画を見直す。平成24年度が農業振興地域整備計画の見直し年度で、事前の策定準備業務を行うものであり、現状に即した計画設定並びに政策的な計画など将来を見据え、優良農地の保全を前提とした適正な土地利用計画とするため策定を行う。	6,234 (806)	142	
	緊急雇用創出事業 (サル被害調査・パトロール事業)	無	継続	ソフト	緊急雇用創出事業を活用し、サル被害調査並びに追い払い・パトロールを強化することにより、猿害の防止に努める。 (パート職員2名体制化)	4,102 ( 0)	142	

項目	課局	事業名	建設計画等登録の有無	新規・継続	ハード・ソフト	事業概要 (事業内容、効果、合併協定の内容、進捗状況等)	所要額: 千円 ( )内は平成 22年度所要額	予算書 ページ
農産物の安定供給と地域に根ざした農業の推進	農林課	生産調整推進対策事業	無	継続	ソフト	戸別所得補償制度への加入を推進することにより、併せて適正かつ実益のある生産調整を推進する。(生産調整に係る事務費については、平成22年度まで、地域協議会の活動費として、直接、地域協議会に交付されていたが、平成23年度から市が交付対象となる。)	9,738 (1,953)	144
		畜産事業費	無	継続	ハード	いきいき畜産推進事業補助金(4,949千円) グリーンアクアセンター内の老朽化する各ふん尿処理施設の修繕等に対応することにより、ふん尿処理施設の安定した稼働と土づくりの推進に努める。	4,949 (480)	156
		グリーンアクアセンター維持管理(攪拌機械スクリーン交換)	無	継続	ハード	グリーンアクアセンター内の市所有施設で、老朽化しているふん尿処理施設並びに機器等を修繕することにより、ふん尿処理施設の安定した稼働と土づくりの推進に努める。	11,261 ( 0)	156
②活力ある産業が根付くまちをつくる								
林業振興と森林の育成	農林課	松くい虫伐倒駆除事業	無	継続	ソフト	五頭山麓の赤松保全のため、被害木を伐倒し薬剤を散布した後、密封することにより松食い虫被害拡大の防止に努めるとともに、松くい耐性木の植栽を進める。	4,581 (6,013)	154
		林道改良事業	無	継続	ハード	安全対策のため老朽化が進んでいる五頭山麓線の橋梁(山ノ神橋)改修工事に努める。	18,000 (12,452)	154
商工業の振興	商工観光課	商工会活動支援事業	有	継続	ソフト	市内中小商工業の指導機関である商工会活動業務(地域内消費促進のための大売出しや商工資金融資等)を支援し、地域経済の活性化を目指す。	24,789 (24,789)	158
		信用保証料補給事業	無	継続	ソフト	景気が低迷する中、県信用保証協会保証料の一部負担を行うことにより、中小企業の経営改善の一助となる。	5,100 (6,447)	160
		産業経済振興基本計画策定事業	有	継続	ソフト	産業振興及び産業集積による地域経済の活性化を図ることを目的に、産業経済振興基本計画を策定する。	4,204 ( 0)	160
		地場産瓦普及助成事業	無	新規	ソフト	阿賀野市産の地場産瓦の普及促進を図り、地場産業の活性化を図るため、住宅の新築及びリフォームに地場産の焼瓦又はスレート瓦を使用した者に瓦代金の1/10かつ限度額10万円を補助する。	5,000 ( 0)	160
		☆ふるさと雇用、緊急雇用創出事業	無	継続	ソフト	中心商店街御用聞き実践事業(ふるさと雇用)、瓢湖あやめ園整備事業費(緊急雇用)、「白鳥の里」魅力づくり事業費(ふるさと雇用)、工作機械操作者育成事業(人材育成)、環境・エネルギー関連企業発掘・誘致事業(人材育成)、「記事体広告」活用地域活性化事業(ふるさと雇用)、環境プロダクト販路開拓事業(ふるさと雇用)の7事業で19人の雇用を確保する。	62,679 (20,909)	160 170 172 174
③自然と歴史・文化が織りなす観光のまちをつくる								
観光の振興	商工観光課	☆観光協会支援事業費	無	継続	ソフト	阿賀野市の観光振興の中核組織である観光協会の各種活動を支援することにより、交流人口の増加を図ることにより地域経済の活性化が大いに期待される。	7,470 (7,470)	162
		ふるさとまつり事業費	無	継続	ソフト	地域に根付いた特色ある伝統的なまつりを支援し、地域の連帯感・賑わいのある街づくりを進め、伝統文化の継承と阿賀野市を県内外にPRする。	9,860 (9,860)	162
		五頭山麓うららの森植栽管理委託料	無	継続	ソフト	五頭山麓並びに阿賀野市観光の拠点施設としてござつちよ広場(フラワーパーク)を良好に維持管理することにより、一層の誘客と交流人口の増加による地域活性化が図られる。	677 (986)	168



項目	課局	事業名	建設計画等登録の有無	新規・継続	ハード・ソフト	事業概要 (事業内容、効果、合併協定の内容、進捗状況等)	所要額: 千円 ( )内は平成 22年度所要額	予算書 ページ
観光の振興	商工観光課	瓢湖水きん公園維持管理費	有	継続	ソフト	白鳥飛来地として全国的に知られている、「瓢湖水きん公園」の整備美化推進に努め、阿賀野市観光の拠点として、通年観光を目指し、より多くの観光誘客を図る。	11,820 (18,350)	164
		阿賀野市観光戦略プラン推進・評価委員会	有	継続	ソフト	策定された阿賀野市観光推進計画(戦略プラン)を、基本計画の目的に沿って推進されているか評価・検証し、「自然と歴史・文化が織りなす観光のまち」を推進し、交流人口の拡大を目指す。	126 (126)	162
④魅力のある産業が集積するまちをつくる								
企業誘致の促進	商工観光課	☆企業誘致活動費	無	継続	ソフト	「新潟県東部産業団地」の分譲を促進させることにより、税収増加、雇用拡大、地域経済の活性化を図る。そのために、企業の設備投資に関する情報収集を実施し、進出企業に優遇制度を適用させ、企業立地に結び付ける。	10,035 (19,408)	172
		東部産業団地太陽光発電所オープニングイベントに伴う企業誘致活動事業	無	新規	ソフト	東部太陽光発電所のオープニングに併せて、大々的なイベントを行うことによりマスコミを通じた企業誘致活動を行う。	1,430 ( 0)	172
(5)豊かな都市環境を創造するまち【都市基盤】								
①自然環境と調和するまちをつくる								
都市計画の推進	建設課	都市計画総務費(都市計画道路見直し事業費)	有	継続	ソフト	都市計画道路として、都市計画決定されている道路のうち、長期間(概ね20年以上)経過した未着手道路について、社会・経済情勢等の変化により、必要性や位置づけに隔たりが生じており、それら道路の見直しを行い、道路網の再編成による適正なまちづくりを目指す。	1,271 ( 0)	186
良好な居住環境の形成	建設課	☆都市計画総務費(住宅リフォーム補助事業費)	無	新規	ソフト	住環境の改善や向上を支援・推進するため、住宅リフォーム補助制度を創設し、住環境整備を行なう。補助(30万円/件で200件想定)により、住宅関連市場の活性化や、地域経済への波及効果が見込まれる。平成23年度新規事業となるが、事業実績や事業効果を検証し、継続か中止・廃止等を検討する。	60,000 ( 0)	186
水と緑の保全・整備	建設課	公園費(公園維持管理費)	無	継続	ハード	所管する86箇所の公園の利用者が、安全に利用できる環境保全のため、適切な維持管理を実施する。公園・街路樹等の景観保全や遊具施設等の定期点検・補修修繕等を実施し、安全・安心確保に努める。公園施設の長寿命化計画策定業務に着手するため、調査点検による公園施設台帳を整備する。	16,355 (17,883)	186
②快適な日常生活が送られるまちをつくる								
道路網の整備	建設課	土木総務費(道路台帳管理費)(法定外公共物管理費)	有	継続	ソフト	平成22年度に道路形態の変更(市道認定・道路改良等)が生じた路線の、台帳補正・修正業務を実施する。デジタル化した地図データや法定外公共物データを道路管理システムに組み入れ、作成する。迅速な処理による、道路行政の効率化・円滑化につなげる。	5,636 (4,130)	176
		道路維持費(道路維持管理費)	有	継続	ハード	市の管理する道路や側溝の維持管理を実施し、安全で安心な通行の確保や生活環境の保全を図る。苦情や要望、パトロール等による現地調査を実施し、危険箇所の早期発見、早期修繕を行う。危険・緊急箇所の修繕を最優先として実施し、事故等の未然防止に努める。舗装・側溝・路面排水・道路照明等修繕 一式 道路除草・側溝清掃・支障物除去等委託 一式	41,683 (39,219)	178

※網掛け部分は合併特例事業、☆は平成23年度重点事業

項目	課局	事業名	建設計画等登録の有無	新規・継続	ハード・ソフト	事業概要 (事業内容、効果、合併協定の内容、進捗状況等)	所要額: 千円 ( )内は平成 22年度所要額	予算書 ページ
道路網の整備	建設課	道路維持費 (社会資本整備総合事業費) 橋梁長寿命化修繕計画策定	有	継続	ソフト	市道に架かる市管理の橋梁490橋の大多数が架橋後数十年経過し、その安全性等が危惧されている。 定期的な点検と予防的な修繕、計画的架替えの計画を策定し、道路交通の安全確保とコスト縮減を図る。 平成21年度から25年度までの5箇年事業で、交付金(交付率5.5/10)を活用。平成23年度末進捗率約65% 平成23年度は、橋長15m以上の65橋の長寿命化修繕計画策定と、15m未満の146橋の点検調査を実施。	12,300 (12,600)	178
		道路維持費 (社会資本整備総合事業費) 道路舗装補修工事	無	継続	ハード	市道庵地寺社線、下黒瀬法柳新田ほか舗装修繕 延長800m 補修面積3,600㎡ 地場産業である、庵地焼きや安田瓦の工場等へのアクセス道路として、また県官産産団地への玄関口である路線および京ヶ瀬地区の阿賀野川堤防上の舗装路面損傷の修繕を実施する。交付金を活用。	15,500 (24,205)	178
		道路新設改良費 (道路改良事業費)	無	新規	ハード	市道の狭隘箇所や変形交差点の解消等、危険箇所の改良を行い安全な通行確保を図る。 狭隘、変形交差点等の測量調査設計 2路線 道路改良舗装工事 3路線 県道新潟安田線改良工事(姥ヶ橋)に伴う、取付市道の新設改良工事の県委託工事費負担金	49,900 (8,000)	180
		☆ 道路新設改良費 (社会資本整備総合事業費)	有	継続	ハード	市道、野地城中湯線・牧島小境線・緑岡前山線・田山窪川原線の用地測量・物件調査、用地買収 一式 国道49号阿賀野バイパスに接続・関連する幹線市道の整備により、バイパス整備の推進と地域経済の活性化や交流の促進、道路交通網のネットワーク化による利便性、安全性の向上を図る。 交付金(交付率5.5/10)を活用	79,008 (50,140)	180
		道路新設改良費 (道整備交付金事業費)	無	新規	ハード	市道、赤水押切線道路改良 L=700m 測量調査設計・用地測量 一式 交付金(交付率1/2)を活用 笹神地区と水原地区を結ぶ幹線道路の改良拡幅により、雪や災害に強く、安全・安心に暮らせる地域づくりを推進する。事業予定期間 平成23年度～平成26年度 4箇年	19,000 ( 0)	180
		交通安全施設整備費 (交通安全施設整備事業費)	無	継続	ハード	防護柵や安全柵、視線誘導標、区画線等、安全施設の維持修繕 一式 老朽化等により磨耗・消耗した安全施設や、除雪等により破損・損傷した安全施設の修繕を実施する。 安全点検等による危険箇所の早期修繕、早期解消に努め、事故等の未然防止を図る。	6,696 (490,303)	180
		交通安全施設整備費 (社会資本整備総合事業費)	有	継続	ハード	市道安野川右岸線 平成21年度から5箇年事業 平成23年度末進捗率約71%(用地買収完了) 土留擁壁 L=30m、排水ポンプ設備、JR横断ボックス工事負担金、埋蔵文化財発掘調査費等 一式 市道若葉町安野川線 平成21年度から4箇年事業 平成23年度末進捗率約86%(用地買収完了) 用地買収・物件補償等 一式 自歩道のネットワーク化による歩行者の安全確保 交付金5.5/10を活用	374,000 ( 0)	180
		☆ 道路除雪費 (社会資本整備総合事業費)	有	継続	ソフト	冬期間の円滑な道路交通確保を図り、地域住民や地域経済の民生安定と経済振興に寄与する。 老朽化して修繕・改築の必要な消雪井戸の計画的更新を実施し、適正な維持管理による長寿命化を図る。 雪害指定道路の除雪費が交付金対象(交付率2/3)となり、市道除雪延長505kmのうち107kmが対象。 除雪に要した実績額を指定延長割合に按分し、交付金事業費を算出。事業費1,800万円 交付金1,200万円	161,330 (128,979)	182

項目	課局	事業名	建設計画等登録の有無	新規・継続	ハード・ソフト	事業概要 (事業内容、効果、合併協定の内容、進捗状況等)	所要額: 千円 ( )内は平成 22年度所要額	予算書 ページ
公共交通機 関の機能の 充実	総務課	市営バス運行事業	有	継続	ソフト	市内の交通空白地域の生活交通手段を確保するために運行している市営バスは、市民、特に高齢者や学生などの交通弱者の足として日常生活に欠かせないものとなっている。今後もより効果的かつ効率的で利便性の高いバス運行とするために、利用状況や地域の要望等を勘案して、路線・停留所・運行回数等の見直しを図る。 また、阿賀野市地域公共交通協議会と連携して、市内全域の市営バスを含む公共交通体系について、見直しや改善等を検討していく。	75,937 (74,968)	62
下水道・排水施設の整備	下水道室	単独公共下水道安田地区下水道整備事業	有	継続	ハード	安田地区の面整備がほぼ完了したことにより、公共樹の設置接続等に対応する。 一部のマンホール(14箇所)が急激に腐食・劣化したことにより補強工事を実施し、その原因に基づく対策を図る。	50,550 (51,620)	特会 153 155
		流域関連公共下水道水原地区下水道整備事業	有	継続	ハード	市街地周辺部の北新町、あやめ、みそら野等の人口集中地域での整備拡大及び上中野目等事業効果の高い地域約5.1kmの管渠整備・延伸を図る。 平成23年度整備により、水原地区下水道普及率が76%から約700人、3%の増加を図る。	534,000 (417,500)	特会 155
		流域関連特定環境保全公共下水道京ヶ瀬地区下水道整備事業	有	継続	ハード	流域下水道幹線の沿線から周辺部の京ヶ島、小河原、七島等の約4.0kmの整備促進を図る。 平成23年度整備により、京ヶ瀬地区下水道普及率が90%から約200人、3%の増加を図る。	396,400 (307,200)	特会 155
		流域関連特定環境保全公共下水道笹神地区下水道整備事業	有	継続	ハード	流域下水道幹線の沿線から周辺部の上飯塚、榎船渡、沖、島田等の整備拡大を図り、約3.1kmの管渠整備により、整備の遅れている笹神地区の普及率の向上を目指す。 平成23年度整備により、笹神地区下水道普及率が61%から約300人、3%の増加を図る。	358,100 (306,200)	特会 155
	建設課	排水路整備費(排水路維持管理費)	無	継続	ハード	2排水路の改修工事を行い、地域沿線の浸水被害の防止や生活環境の向上を図る。 現況の土水路にコンクリート二次製品等を設置し、流下能力の向上と維持管理の簡便化や、破損箇所の修繕、土砂の堆積等による排水不良箇所、道路横断箇所等の浚渫清掃業務を実施する。	8,300 (800)	184
対治策山の・推 進水	建設課	河川総務費(河川施設管理費)	無	継続	ハード	国・県の管理する16河川施設の委託業務や、普通河川、11河川の除草及び水門等の施設維持管理作業を実施し、洪水・浸水等の未然防止を図り、地域住民の生活環境の維持保全に努める。	23,516 (23,294)	184
(6)ともに歩み、みんなで支えあう融和のまち【コミュニティ・交流】								
①輝きの輪が広がる豊かなまちをつくる								
づこ くミ ュの ニ 推 進 イ	総務課	集会用施設建設費補助事業	無	継続	ソフト	地域のコミュニティ活動を促進するため、自治会等の集会用施設の建設費の一部を補助する。 新築・・・事業費の80%(限度額200万円) 改修(下水道接続工事)・・・事業費の50%(限度額30万円)	2,700 (2,100)	54
交 流 の 促 進	企画政策課	☆市民交流エリア整備事業	無	継続	ソフト	阿賀野市総合計画の基本構想に定住人口・交流人口の増加を目的に搭載されている事業で、建設準備のための事業。	2,364 (200)	60
②だれもが個性と能力を発揮できるまちをつくる								
画男 社女 成会共 同形参	企画政策課	男女共同参画プラン推進事業	無	継続	ソフト	平成22年度に策定された「第2次男女共同参画プラン」による施策展開として、市民参加型セミナーなどを開催するとともに、男女共同参画社会の実現に向けた意識啓発を図るため、プラン概要版やパンフレットを作成する。	851 (496)	60

項目	課局	事業名	建設計画等登録の有無	新規・継続	ハード・ソフト	事業概要 (事業内容、効果、合併協定の内容、進捗状況等)	所要額: 千円 ( )内は平成 22年度所要額	予算書 ページ
<b>【まちづくりの進め方】</b>								
<b>①市民主体のまちづくりの推進</b>								
市民参画づくりによるまちづくり	企画政策課	広報事業	無	継続	ソフト	「広報あがの」および「お知らせ版」の広報紙とホームページを通して、市の予算・決算、計画や施策への理解と協力、市民生活に影響を及ぼす社会環境についての啓発、並びに市民の皆さまに事業・行事への積極的な参加を促す。	8,460 (8,194)	68
<b>②効率的で効果的な行財政運営</b>								
行政改革の推進	総務課	行政改革事務事業	無	継続	ソフト	行政改革推進事業を効果的に推進するため、会議資料等の作成に必要な事務用消耗品費の経費を計上。	66 (83)	74
		☆行政改革推進事業	無	継続	ソフト	AMSについては、「最小の経費で最大の効果」を念頭に職員の研修及び市民への広報を重点的に行い、引き続き、評価結果の公表を行う。併せて市民意向の把握に努め、より完成されたシステム構築に取り組む。	240 (240)	74
職員能力開発の推進	総務課	人事考課制度事業	無	継続	ソフト	市の人材育成基本方針に掲げる人材育成を主目的とするが、将来的には処遇に反映されるため、重要な準備期間である。	500 (500)	54
電子自治体の推進	総務課	電算システム運用経費	有	継続	ソフト	安定したシステム運用を可能とし、業務の効率化及び住民サービスの向上を図る。	129,397 (92,169)	66
		セキュリティシステム導入事業	有	新規	ソフト	コンピュータウイルス対策、データ漏洩、使用端末管理等のセキュリティ対策について、ハード及びソフト面において、阿賀野市セキュリティポリシーに準じ、強化することを目的とする。	3,907 ( 0)	68
	税務課	eLTAX地方税電子申告の推進とe-TAXの普及促進及び国税連携の充実強化	無	継続	ハード・ソフト	平成21年12月スタートのeLTAX地方税電子申告の普及促進と平成23年1月スタートした国税連携(所得税)システムの充実強化を推進する。これを導入することにより、賦課業務の迅速化・効率化が可能となる。	956 ※電算システム運用経費に含まれる (2,531)	66
財政健全化の推進	財政課	公債費負担適正化計画の推進	無	継続	ソフト	平成18年度に実質公債費比率が基準値の18%を超え19.6%となったことから、平成19年度からの7年度間で18%以下にする公債費負担適正化計画を策定した。この計画を強力に推進することにより早期の財政健全化に取り組む。	0 (0)	-
		☆遊休財産処分	無	継続	ハード	遊休地を売却するために分筆登記・測量を行う。	2,678 ( 0)	58
	課	緊急雇用創出事業(公有地の調査・測量委託事業)	無	新規	ソフト	緊急雇用創出事業を活用し、未登記公有地の調査・測量を行い、整理を進める。	8,757 ( 0)	58
<b>③広域連携による発展</b>								
近隣自治体との連携推進	市民生活課	☆葬斎事業(負担金)	有	継続	ソフト	将来見込まれる火葬需要への対応のため、阿賀北広域組合が実施する葬斎場建設費用等を負担する。	320,226 (60,500)	126

項目	課局	事業名	建設計画等登録の有無	新規・継続	ハード・ソフト	事業概要 (事業内容、効果、合併協定の内容、進捗状況等)	所要額: 千円 ( )内は平成 22年度所要額	予算書 ページ
その他								
そ の 他	企画政策課	企画事務費	無	継続	ソフト	ふるさと阿賀野市応援寄付を阿賀野市出身者のみならず、観光客などにも幅広くPRし、寄付者の増を図るためリーフレットの作成などを行う。また、阿賀野市イメージキャラクター「ごずっちょ」のPRを積極的に行い、市民などへの浸透を図る他、使用頻度の増加に伴う補修等を行う。	530 (587)	58
		地域振興審議事業	有	継続	ソフト	新市建設計画の進捗管理のための審議会の開催と、無秩序な開発を抑制し、国土の適正な利用を図るための阿賀野市国土利用計画(案)について審議する。	288 (336)	60
		総合計画進捗管理事業	無	継続	ソフト	阿賀野市総合計画後期基本計画が平成22年度に策定されたが、この計画に基づき3年ごとの実施計画を策定し、事業管理を行っていく。また阿賀野市国土利用計画(案)について審議する。	36 (1,016)	60
	税務課	固定資産評価業務委託	無	継続	ソフト	平成24年度評価替えに伴う土地評価において、課税客体の現況を把握し、適正な固定資産税評価体系の確立を図るため、基礎資料の整備を実施する。また、平成21年度に実施、整備した航空写真データをもとに、既存の地図情報システム地番図データ(土地評価につながるデータ)を修整する。 *平成23年度実施予定詳細業務 ・平成22年中1年間の異動通知に基づき、地図情報システム土地、家屋図データを更新する業務。 ・土地評価においては、標準宅地価格の分析・検討、新路線価格の算定、平成24評価替えに向けた公開資料(路線価図等)を作成する業務。	10,815 (21,420)	76
		☆地方税のコンビニエンスストアへの収納委託	無	新規	ソフト	平成22年10月現在県内20市中の導入団体は5団体で導入検討中は13団体、うち平成23年度導入3団体、平成24年度導入2団体であり、当市においても平成24年度導入に向け検討し平成23年度中に移行準備する。納税者の利便性の向上、県外納税者の納付場所拡大等により納税環境の整備を図る。(対象税目は個人住、軽自、固定、国保の予定)また、これを導入することにより納期内納入が増加し、収納率の向上に寄与するものである。	7,455 ※電算システム運用経費に含まれる ( 0)	66
	市民生活課	新潟県議会議員選挙	無	新規	ソフト	平成23年4月29日任期満了のため新潟県議会議員選挙の事務を行う。	9,554 (6,271)	82
		戸籍・住民基本台帳業務	無	継続	ソフト	戸籍、住民基本台帳事務処理及び窓口業務を行う。	16,662 (18,352)	80
	建設課	地籍調査事業費	無	継続	ソフト	水原地区、水原・下条・山口の一部地域0.67Km <sup>2</sup> に新規調査着手し、課税の適正化や公共事業等の円滑化を図る。実施工程は、三角・多角測量及び一筆地調査を行う。また、大字水原の一部0.54Km <sup>2</sup> の細部測量を実施する。笹神地区の金屋・押切・次郎丸の一部地域0.3Km <sup>2</sup> で面積測定、地籍図の作成を行う。 平成24年度着手予定の山口地域の一部0.82Km <sup>2</sup> の調査準備や調査済地区の修正等を実施する。	12,084 (11,204)	150
	安田支所	保健センター屋上防水修繕	無	継続	ハード	保健センターについては昨年度より計画的に補修工事を行っている。3階屋上の防水シートは全体的にシートが薄くなっており、すでに破れたシートの継ぎ目から水が浸透していることが予測される。このままでは雨漏りの原因になることから早急に修繕を行い、安全安心な使用を図る。	1,502 (814)	70

※網掛け部分は合併特例事業、☆は平成23年度重点事業

項目	課局	事業名	建設 計画 等登 載の 有無	新規 ・ 継続	ハード ・ ソフト	事業概要 (事業内容、効果、合併協定の内容、進捗状況等)	所要額: 千円 ( )内は平成 22年度所要額	予算書 ページ
そ の 他	安田支所	保健センター 外壁修繕	無	新規	ハード	保健センターの1、2階部分は安田診療所と賃貸借契約を平成36年まで契約している。建物の外壁塗装がはがれ、亀裂箇所もあることから、早期の補修が必要である。 地域にとって重要な医療機関であることから外壁の修繕を行い地域の方々に安全安心な施設の利用を図る。	8,820 ( 0)	70
	京ヶ瀬支所	支所庁舎管理	無	継続	ハード	庁舎設備が経年劣化している。保守点検時に修理交換の指摘を受けているものから順次交換・修善を行い、安全に使用できるよう努める。	292 (600)	70
		車両維持管理費	無	継続	ハード	車両も購入から10年以上経過しているものが5台中3台あり、必要に応じて修繕を行ったり、タイミングベルト、タイヤ等順次交換を行い、安全に使用できるよう努める。	228 (100)	70 72
	笹神支所	支所庁舎管理 警報盤設置修理	無	新規	ハード	警備室の中央監視盤に異常警報を知らせても、職員が常駐していないため気付かずにいる状況であり、緊急時に対応できないことから、事務室内で確認できるよう設置修理するもの。	297 ( 0)	72
		支所庁舎管理 冷却塔修理	無	新規	ハード	冷房設備の冷却塔が故障により漏水状態となり、昨年夏期の水道料が跳ね上がったことから、冷房使用時まで修理するもの。	382 ( 0)	72

合併特例事業・起債額一覧表

●市町村合併特例事業

合併特例債借入限度額	21,080,000
翌年度以降借入可能額	14,419,000

(単位：千円)

事業名	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度 発行見込み	平成22年度 発行見込み	平成23年度 発行見込み	計
特別養護老人ホーム建設事業補助				45,700	1,411,500				1,457,200
道路新設改良事業	128,500	64,600	127,300	94,600	235,400	233,900	20,200	60,300	964,800
道路消雪パイプ設置事業	296,500	85,800	61,900	43,300					487,500
交通安全施設整備事業			111,800	10,800	84,700	88,300	194,600	151,300	641,500
道路整備事業(主要地方道新潟安田線)	8,500	7,400	4,500	2,800		4,400	1,900		29,500
県営広域営農団地農道整備事業(北蒲原南部地区)	12,300	18,500	32,400	42,900	30,800	20,500	31,600	25,600	214,600
県営湛水防除事業〔特大規模〕(安野川地区)	188,600	218,700	161,800	148,400	177,400	172,100	177,500	152,700	1,397,200
県営湛水防除事業〔小規模〕(沢田地区)	9,200	36,900	1,600	12,100					59,800
県営湛水防除事業〔小規模〕(島田地区)	4,200	17,900	3,100	7,400	5,100	22,400	29,200	18,200	107,500
県営基幹水利施設補修事業(阿賀野川右岸地区)	4,000	3,100	1,300	1,900	500	600	8,500	6,000	25,900
国営付帯県営かんがい排水事業(塚田川)						900	4,200	2,100	7,200
県営林道事業(森林基幹林道 五頭山麓南線)	22,200	19,500	15,100	8,600	6,600	13,300			85,300
合併記念公園整備事業(瓢湖水きん公園)				9,900					9,900
道路整備事業(県道新開水原停車場線、県道大室水原線、市道大野地押切線)			1,800	1,400	4,000	2,300	200		9,700
道路整備事業(国道290号)						200	1,100		1,300
JR京ヶ瀬駅周辺整備事業	24,600	39,300	8,900						72,800
中小河川整備事業		5,900							5,900
合併記念公園整備事業(阿賀野テクノタウン)	36,000	32,100							68,100
道路整備事業(主要地方道新潟五泉間瀬線)	12,000	5,600							17,600
消防防災施設設備整備事業(はしご付消防ポンプ自動車)	83,600								83,600
特別養護老人ホーム建設用地取得・造成事業			122,200						122,200
県営かんがい排水事業〔排特型〕(大和地区)	7,400	6,400	9,700						23,500
消防防災施設設備整備事業(高規格救急車)					13,100				13,100
消防防災施設設備整備事業(耐震性貯水槽整備事業)					8,700				8,700
学校施設耐震化大規模改修整備事業					23,600	275,400	35,100	31,300	365,400
葬斎施設整備事業							57,400	295,300	352,700
道路整備事業(姥ヶ橋中央線)								28,500	28,500
計	837,600	561,700	663,400	429,800	2,001,400	834,300	561,500	771,300	6,661,000

※平成16～20年度は実績額、平成21～22年度は平成23月1月末時点の見込額、平成23年度は当初予算額

●合併市町村振興基金造成事業

合併特例債借入限度額	2,454,200
翌年度以降借入可能額	4,200

(単位：千円)

事業名	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度 発行見込み	平成22年度 発行見込み	平成23年度 発行見込み	計
合併市町村振興基金造成事業	950,000	950,000	550,000	—	—	—	—	—	2,450,000

